

峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町

合 併 協 議 会

第 5 回新市建設計画策定小委員会

日時 : 平成 1 4 年 8 月 2 0 日(火)

場所 : 弥栄町役場 会議室

次 第

1 開会

2 議題

(1) 協議第 1 号 新市建設計画について

- ・「 2 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況」
(修正について)
- ・「新市の将来像」

(2) 次回の議題について

- 新市建設計画について
- その他

(3) 次回の小委員会の日程等

第 6 回新市建設計画策定小委員会

日程 平成 1 4 年 9 月 1 8 日(水) 午後 1 時 3 0 分

場所 久美浜町福祉センター(浜公園内) 2 階会議室

3 その他

新市建設計画(案)

Ver . 3

峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会

目 次

1. 序論	1-1
(1) 新市建設計画策定の方針	1-1
1) 計画の趣旨	1-1
2) 計画の構成	1-1
3) 計画の期間	1-1
4) その他	1-1
(2) 新市建設計画の構成について	1-2
2. 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況	2-1
(1) 位置・地勢	2-1
(2) 歴史・沿革	2-4
(3) 人口	2-8
(4) 交通	2-10
(5) 地域間の連携の現状	2-12
1) 日常生活圏域の状況	2-12
2) 広域行政等の現状	2-18
(6) 産業	2-19
1) 産業別就業者数	2-19
2) 農業	2-21
3) 漁業	2-23
4) 工業	2-24
5) 商業	2-27
6) 観光	2-29
(7) 観光的視点を中心とした地域資源の分布	2-30
1) 自然資源	2-30
2) 歴史資源	2-30
3) 祭り・イベント	2-31
4) 地場産業資源	2-31
5) 温泉	2-31
(8) 主な公共・公益施設	2-32
(9) 既存計画にみるまちづくりの考え方	2-33
1) まちづくり上の課題に関する認識	2-33
2) まちの将来像・基本目標	2-33
3. 6町合併の必要性	3-1
(1) 暮らしやすい地域づくりにおける市町村の役割強化	3-2

1) 生活圏の拡大への対応	3-2
2) 少子・高齢化への対応	3-2
3) 多様化する住民ニーズへの対応	3-4
(2) 地域の活力の向上と市町村の役割	3-6
(3) 地方分権で高まる市町村の役割強化	3-6
(4) 行財政の効率化に対する市町村の積極的な取り組み	3-7
1) 厳しい財政状況への対応	3-7
2) 納税者としての住民の意識への対応	3-7

1 . 序 論

(1) 新市建設計画策定の方針

1) 計画の趣旨

本計画は、峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町の合併後の新市の建設を総合的かつ効果的に推進することを目的とし、本計画を実現することにより、6町の速やかな一体化を促進し、住民福祉の向上と新市全体の均衡ある発展を図ろうとするものである。

なお、新市の進むべき方向についてのより詳細かつ具体的内容については、本計画に基づき、新市において作成する基本構想、基本計画、実施計画に委ねるものとする。

2) 計画の構成

本計画は新市を建設していくための基本方針および、これを実現するための主要事業、公共的施設の統合整備及び財政計画を中心として構成する。

3) 計画の期間

本計画における主要事業、公共的施設の統合整備及び財政計画は、合併後、概ね10年程度の期間について定めるものとする。

また、新市の基本方針を定めるに当たっては、将来を見据えた長期的視野に立つものとする。

4) その他

公共的施設の統合整備については、住民生活に急激な変化を及ぼさないよう十分配慮し、地域のバランス、さらに財政事情を考慮しながら逐次実施していくものとする。

財政計画については、地方交付税、国や府の補助金、地方債等の依存財源を過大に見積もることなく、新市において健全な財政運営が行われるよう十分留意して策定するものとする。

新たに誕生する市は、面積が広大になることから、全市域をカバーする事業と各地域の課題を把握したうえで地域の特性を活かせるような事業をハード、ソフトの両面にわたり、効果的な事業の展開を図っていくものとする。

また、本計画の検討に際しては、住民意向を十分に踏まえるとともに、合併の効果の最大活用、および合併に伴う懸念事項への適切な対応に、十分留意して策定するものとする。

(2) 新市建設計画の構成について

1. 序論	
(1)新市建設計画策定の方針	新市建設計画を策定するに当たっての策定方針を検討する。
2. 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の概況	
(1)位置・地勢	6 町の地勢・歴史的な背景を整理するとともに、社会・経済指標の推移を把握し、地域の現況を分析する。
(2)歴史・沿革	
(3)人口	
(4)交通	
(5)地域間の連携の現状	
(6)産業	
(7)観光の視点を中心とした地域資源の分布	
(8)主な公共・公益施設	
(9)既存計画にみるまちづくりの考え方	広域市町村圏計画や京都府の長期計画等から、6 町の広域圏における位置づけ、役割等について整理する。
(10)地域の特性(まとめ)及び課題	(1)～(3)及び住民アンケート調査の結果などを踏まえ、6 町の特性及び今後のまちづくりに向けての課題を検討する。
3. 6 町合併の必要性	
(1)社会潮流から見た合併の必要性	地方分権の時代、高齢社会等の社会潮流からの合併の必要性について検討する。
(2)暮らしやすい地域づくりから見た合併の必要性	住民・行政サービスの高度化・多様化に対応する上での合併の必要性を検討する。
(3)地域の活性化と合併の必要性	地域の商工・農林漁業の活性化、観光・レクリエーションの振興といった視点からの合併の必要性を検討する。
(4)行財政の効率化と合併の必要性	活力ある自治体づくりに向けて、行財政の効率化の視点から、合併の必要性を検討する。
(5)合併に向けての留意点	上記(1)～(4)の必要性とともに、住民アンケート調査の結果などを踏まえ、住民にとって不利益、不便が生じないような合併及び新市づくりのための留意点を整理する。

4. 主要指標の見通し	
(1)人口	6 町合併後の将来の総人口、就業人口とともに、年齢階層別人口、世帯数についてその見通しを検討する。
(2)世帯	
5. 新市建設の基本方針	
(1)新市の将来像	住民アンケート調査等の結果などを踏まえ、新市の“まちづくりの基本理念”を設定するとともに、その基本理念を具体化するための“新市建設の目標(将来像)”を示す。
(2)新市建設の基本方針	(1)の将来像を踏まえ、将来像実現のための“新市建設の基本方針”について、例えば、以下のような視点から検討する。 都市基盤整備 自然環境の保全と生活環境の整備 教育・文化の振興 健康・福祉の充実 産業の振興 住民参画型のまちづくりと連携・交流の推進 行財政の効率化
(3)都市構造と土地利用	ゾーニングと軸線により、概念的に新市の都市構造を設定するとともに、新市をいくつかの地域に分類し、地域別の土地利用の基本方向を検討する。
6. 新市の施策	
(1)施策の体系化	5の(2)における基本方針ごとに、より具体的な施策方針を設定し、新市建設に向けての施策の体系化を行う。
(2)新市建設の基本方針に対応した施策展開	6の(1)における施策の体系の柱ごとに、住民アンケート調査の結果などを踏まえながら、施策展開に向けての考え方・方向性を設定し、それに対応した主要施策や事業の位置づけを行う。
7. 新市における京都府事業の推進	新市において、推進すべき京都府事業について検討する。
8. 公共的施設の統合整備	住民サービスの低下を招かないように配慮し、各地域のバランス及び財政事情を勘案して、公共的施設の統合整備の方向性について検討する。
9. 財政計画	過去の歳入・歳出の推移や合併にともなう支援措置の活用等を踏まえ、合併後の財政計画について検討する。

2. 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況

(1) 位置・地勢

丹後6町は、京都府の北西端に位置し、京都市から約150kmの距離にある。6町全体で東西に約25km、南北に約19km、面積501.83 km²である。

地形は、中国山脈の流れを受けた標高400～600mの山々が連なる山稜が広がり、中央部には盆地、北端には3町にまたがって連なる海岸といった形状を成している。また海岸部は、東側が若狭湾国定公園に、西側が山陰海岸国立公園に指定されている。

土地利用の状況は、地域の70.0%が山林・原野、田畑が10.9%、宅地は2.5%となっている。

気候は、年間を通して多雨多湿で、特に冬期の積雪もみられる典型的な日本海型の気候であるが、対馬暖流の影響を受けて、夏は比較的涼しく、冬は比較的温暖となっている。

6町の面積

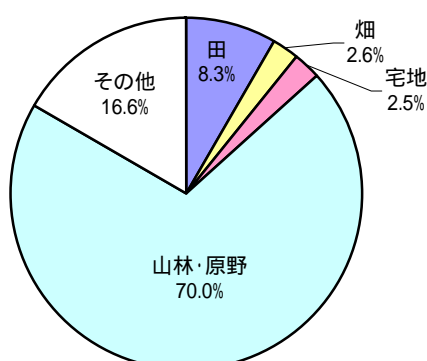
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
面積(km ²)	67.45	68.93	75.07	64.96	80.38	145.04	501.83

6町土地利用状況

(単位: ha)

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
田	766	725	448	463	515	1,239	4,156
構成比(%)	11.4	10.5	6.0	7.1	6.4	8.5	8.3
畑	146	121	340	182	113	393	1,295
構成比(%)	2.2	1.8	4.5	2.8	1.4	2.7	2.6
宅地	251	202	293	117	145	237	1,245
構成比(%)	3.7	2.9	3.9	1.8	1.8	1.6	2.5
山林・原野	4,435	5,016	5,300	4,933	5,506	9,948	35,138
構成比(%)	65.8	72.8	70.6	75.9	68.5	68.6	70.0
その他	1,147	829	1,126	801	1,759	2,687	8,349
構成比(%)	17.0	12.0	15.0	12.3	21.9	18.5	16.6
計	6,745	6,893	7,507	6,496	8,038	14,504	50,183

交付税算定数基礎数値より



【各町の位置・地勢】

峰山町

京都府北部丹後半島の中心に位置し、峰山盆地の大部分を占めている。町域は東西 8.5km、南北 11.9km、面積 67.45 k m²で、そのうちの約 66%は山林・原野が占めている。四方を磯砂山、久次岳をはじめとする標高 400～600m の丘陵に囲まれ、1つの市街地と 18 の集落からなっている。

大宮町

京都府の北西部に位置し、丹後半島のほぼ中心部にあり、丹後半島の玄関口のまちである。町域は東西 13.5km、南北 11.3km、面積 68.93 k m²で、そのうちの約 73%を山林・原野が占めている。

河川は、竹野川がその源を五十河に発し、町内を楕円形に流れ、常吉川、大谷川の支流と合流している。

網野町

日本標準時東経 135 度線上最北のまちで、京都府北部、丹後半島の西端に位置し、日本海に沿ってやや長く延びている。町域は東西 14.6km、南北 11.6km、面積 75.07 k m²で、そのうちの約 71%を山林・原野が占めている。土地の大半は中国山脈の余波を受けて複雑な山陵となり、標高の最高は久次岳頂上付近の約 540m、最低は浅茂川地区内の約 0.6m である。

主流である福田川と木津川の流域及び海岸沿いなどに約 400ha の平坦部が開け、福田川河口の網野、浅茂川地区が商工業の中心地である。

丹後町

京都府最北端に位置し、日本海に面している。町域は東西 15.8km、南北 6.3km、面積 64.96k m²で、そのうちの約 76%を山林・原野が占めている。土地の大部分は標高 540m の依遅ヶ尾山を中心に中国山脈の流れを受けた帯状の山地であり、竹野川、宇川流域及び海岸沿いの平坦地に大小 37 の集落と約 645ha の田畑が展開している。海岸線は非常に変化に富み、若狭湾国定公園区域に指定され、6 の漁港と 8 の海水浴場がある。

弥栄町

京都府の北部、丹後半島の中央に位置している。町域は東西 13.2km、南北 9.3km、面積 80.38 k m²で、そのうちの約 69%を山林・原野が占めている。丹後半島を北流する竹野川と宇川が流れ、竹野川沿いに約 600ha の肥沃な耕地が広がる平野部の弥栄地域と、標高 683m の太鼓山などの山岳と広大な山林をもつ山間部の野間地域に大別され、平野部では人口の 90%が集中している。

久美浜町

京都府の北西端に位置し、西は兵庫県、北は日本海に面し、北側を除いて周囲は山に囲まれている。町域は東西 13.8km、南北 15.8km、面積 145.04 k m²（久美浜湾 7.3 k m²を含む）で、そのうちの約 69%を山林・原野が占めている。町内には、佐濃谷川、川上谷川、久美谷川、栃谷川の 4 本の主要河川が南北に流れ、その流域に平野が広がり、集落が点在している。また、これらは全て久美浜湾に注いでいる。

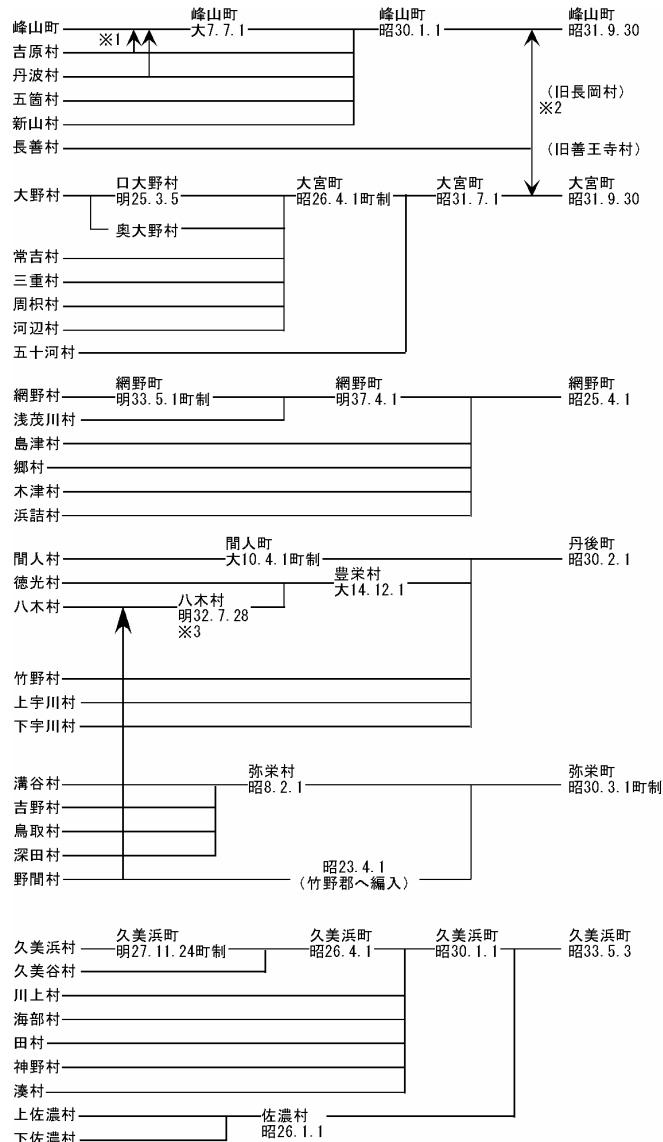
水と緑が調和した自然に恵まれ、資源も豊富であり、青くすきとおった海と白砂の日本海海岸一帯及び久美浜湾とその周辺は、山陰海岸国立公園に指定されている。

(2) 歴史・沿革

この地域では縄文時代早期にあたる宮の下遺跡に始まり、日本海側最大級の前方後円墳である「網野銚子山古墳」や日本最古の紀年銘鏡の「方格規矩四神鏡」など古代の繁栄をほうふつさせる多くの遺跡等が確認されている。約2,000年前の中国の貨幣「王莽の貨泉」^{おうもう かせん}などから、古代から大陸との交易の跡が伺える。

また、明治の初めには、丹後、但馬、丹波、播磨、美作の五カ国を管轄した久美浜県の県庁舎が久美浜町内に建てられるなど、広域的な地域の中心地としても栄えた。

幾多の変遷を経て、38町村が合併を繰り返し、現在の6町に至っている。



※1 大正7年7月1日、吉原村大字安の一部及び丹波村大字杉谷を峰山町へ編入。
 ※2 昭和31年9月30日、長善村を大字善王寺は大宮町へ、大字長岡は峰山町へ。
 ※3 与謝郡野間村（現弥栄町）大字野中 小字大石を八木村へ編入。

各町の変遷

【各町の歴史・沿革】

峰山町

記録に残されたわが国最古の羽衣伝説の町として広く知られ、伊勢外宮の故地として、五穀・養蚕などわが国農業の発祥の地とも言われている。古代から大陸との交易の跡を残す古墳や遺跡が多く、特に平成6年、大田南5号墳から出土した「方格規矩四神鏡」は、日本最古の紀年銘鏡（青龍3年 西暦235年）として全国から注目を浴びるとともに古代丹後の繁栄を物語っている。また、享保5年（1720年）、峰山の絹屋佐平治（のちの森田治郎兵衛）によって「丹後ちりめん」が織り出され、その集散地となった。また丹後の農山漁村をつなぐ“商いの町”として栄えてきた。

昭和2年3月7日の丹後大震災により市街地の97%を焼失したが、まもなく復興。昭和30年から31年にかけて1町4村1地区が合併し、新しい峰山町として現在に至っている。北丹後唯一の城下町であり、現在も丹後の政治・経済・産業・文化の中心地となっている。

大宮町

古代の丹波国府、丹後国府の統合、中世の鎌倉・室町・安土桃山時代の変転極まりない統治時代を経て近世に至り、徳川幕府の全国統治の中で、峰山藩・宮津藩、直轄領に分割統治された。明治に入り藩籍奉還につづく廃藩置県により豊岡県に属したが、明治9年に京都府へ所属替えとなった。

明治22年町村制の施行により、いままで集落毎につくられていた16か村が大野・常吉・三重・五十河・周枳・河辺・長善の7か村になり、明治25年3月、大野村は口大野村・奥大野村に再び分村し、8か村となった。

昭和22年地方自治法が施行され、民主的な近代地方自治への転換、広域化が要請されるなかで、昭和26年4月、口大野村・奥大野村・常吉村・三重村・周枳村・河辺村の6か村が合併して大宮町が誕生した。その後、昭和31年7月に五十河村、同年9月に長善村のうち善王寺区域を編入合併し、現在の大宮町となった。

網野町

今から約7,000年～8,000年前の縄文時代早期にあたる宮の下遺跡から始まる。このほかにも日本海側では最大級の前方後円墳である網野銚子山古墳をはじめ、町内には古代丹後の繁栄をほうふつとさせる遺跡が数多く

発見されている。また、浦嶋太郎、静御前にまつわる伝説なども伝えられている。

江戸時代には田辺、宮津、峰山の3藩のほか、ところどころに幕府の直轄地が混在し、一部は久美浜代官所の支配下に置かれることもあった。明治2年に久美浜県に属し、同4年廃藩置県によって豊岡県の管轄に入り、同9年に京都府に編入された。

このように幾多の変遷を経て、明治22年に町村制が実施されて網野村に、同37年には浅茂川村が網野村に組み入れられ、昭和25年に竹野郡西部5カ町村（網野町、島津村、郷村、木津村、浜詰村）が合併し、現在の網野町が誕生した。

丹後町

古くは第9代開化天皇（前157）の妃となった竹野比売の昔から皇室との関係が深く、また出雲・大和両文化交流の接点、大陸文化導入の基地として重要な役割を果たした土地柄である。戦国時代に入り、徳川幕府直轄地を主として一部宮津藩に属していたが、明治4年廃藩置県により豊岡県に属し、同年9月京都府に編入された。明治22年町村施行に伴い、間人村、八木村、徳光村、竹野村、上宇川村、下宇川村が誕生した。

さらに大正10年間人村が町制施行、大正14年八木村、徳光村が合併して豊栄村となり昭和30年2月1町4か村が合併し丹後町が生まれ現在に至っている。

弥栄町

出雲文化の流れを受けて古くから開け、絹織物は遠く天平の昔から織り始められ、水稻は奈良時代から農業の中心として栽培されていたことは奈良正倉院に蔵されているあしぎぬ、奈良平城京跡から発掘された献米木簡からも明らかになっている。農業と織物の町として栄え、現在もその伝統を受け継いでいる。また、平成6年には紀年銘鏡としては日本最古の『方格規矩四神鏡』、青龍三年鏡が出土し卑弥呼の鏡論争を全国に巻き起こし、平成8年に国指定重要文化財の指定を受けている。

天正年間には細川氏の領地に、江戸時代においては一部（宇鳥取、黒部など6地区）は、徳川幕府の天領で久美浜代官の支配に、他は概ね宮津藩に属していた。明治2年に久美浜県に、その後、明治9年に京都府に編入、明治22年の町村制実施に伴い吉野・溝谷・深田・鳥取・野間の各村が誕

生。昭和 8 年に野間村を除く 4 ケ村が合併して弥栄村となる。昭和 23 年に野間村が与謝郡から竹野郡に編入され、同 30 年弥栄村と合併して弥栄町となる。

久美浜町

弥生時代に鉄と稲作の文化が伝えられ、日本海沿岸に位置することから、大陸文化の影響を受けながら農耕社会が形成されていった。江戸時代になると、久美浜は徳川幕府の直轄地となり、代官所が置かれた。また、海運業に適した地理的条件を生かし、廻船業を営む「五軒家」が栄え、主に日本海沿岸地域の物流には大きな役割を果たした。明治の始め、久美浜県が置かれ、丹後、但馬、丹波、播磨、美作の五か国・926 か村を管轄。県庁舎が久美浜町内に建てられ、当時の県内各地から多くの人が集まって、町は大変にぎわった。その後、豊岡県に移り、しばらくすると豊岡県の廃止にともない京都府に編入された。

昭和 30 年に 1 町 5 か村が合併し、さらに昭和 33 年には佐濃村を編入して、現在の 1 郡 1 町の久美浜町となった。

(3) 人口

6町の人口は、合計で65,578人であり、合併した場合、京都府内で9番目の規模となる。

総人口の推移は、減少傾向を示しており、ここ20年間で10.1%の減少を示している。この中で、大宮町は、平成7年から平成12年にかけては、約4%増加している。逆に丹後町（約6%減）や網野町（約4%減）は大きく減少している。

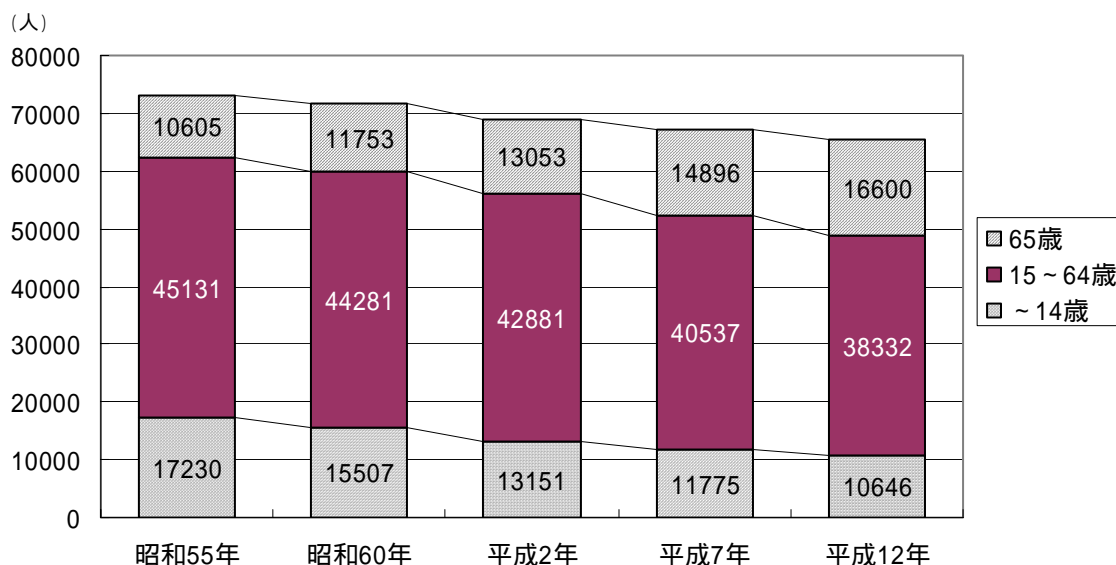
年齢別人口（3区分）をみると、年少人口比率（15歳未満）がここ20年間で7.4%減少する一方、高齢人口比率は10.8%増となっており、少子高齢化の傾向が顕著に表れている。

また、高齢人口比率（25.3%）は、京都府全体（17.5%）と比較しても極めて高く、特に久美浜町（約30%）丹後町（約29%）は突出している。

人口の推移

年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	H7-H12 伸び率
峰山町	14,911	14,774	14,387	14,026	13,564	-3.29%
大宮町	10,597	10,486	10,291	10,416	10,805	3.73%
網野町	18,823	18,112	17,269	16,696	16,056	-3.83%
丹後町	8,956	8,611	8,042	7,607	7,164	-5.82%
弥栄町	6,501	6,388	6,275	6,125	6,132	0.11%
久美浜町	13,178	13,177	12,821	12,338	11,857	-3.90%
計	72,966	71,548	69,085	67,208	65,578	-2.43%

資料：国勢調査

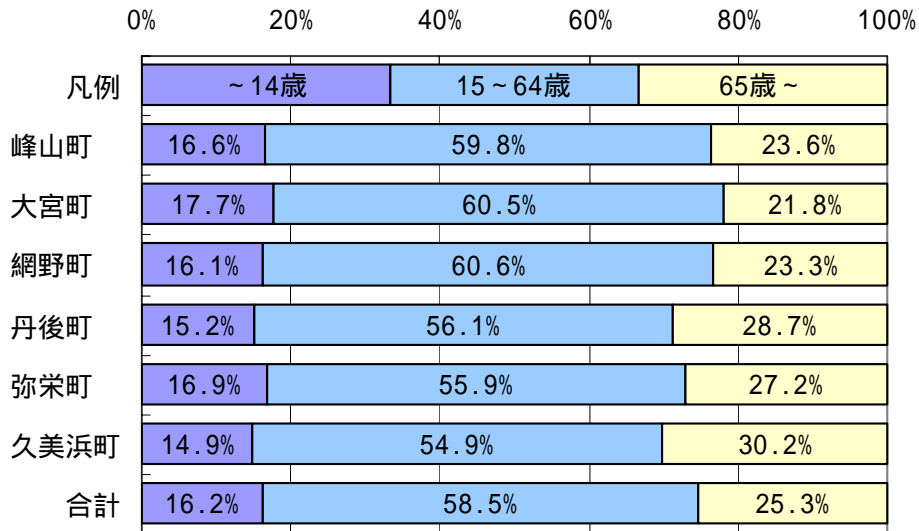


世代別人口の推移

資料：国勢調査
注) 年齢不詳を除く

年齢別人口の推移

	昭和55年		昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		
	実数(人)	%	実数(人)	%	実数(人)	%	実数(人)	%	実数(人)	%	
峰山町	～14歳	3,667	24.6%	3,276	22.2%	2,741	19.1%	2,456	17.5%	2,251	16.6%
	15～64歳	9,241	62.0%	9,307	63.0%	9,266	64.4%	8,775	62.6%	8,109	59.8%
	65歳～	2,003	13.4%	2,191	14.8%	2,380	16.5%	2,795	19.9%	3,204	23.6%
	合計	14,911	100.0%	14,774	100.0%	14,387	100.0%	14,026	100.0%	13,564	100.0%
大宮町	～14歳	2,569	24.2%	2,300	21.9%	1,930	18.8%	1,871	18.0%	1,909	17.7%
	15～64歳	6,660	62.8%	6,609	63.0%	6,552	63.7%	6,440	61.8%	6,536	60.5%
	65歳～	1,368	12.9%	1,577	15.0%	1,809	17.6%	2,105	20.2%	2,360	21.8%
	合計	10,597	100.0%	10,486	100.0%	10,291	100.0%	10,416	100.0%	10,805	100.0%
網野町	～14歳	4,735	25.2%	4,096	22.6%	3,318	19.2%	2,906	17.4%	2,590	16.1%
	15～64歳	11,743	62.4%	11,390	62.9%	11,035	63.9%	10,499	62.9%	9,730	60.6%
	65歳～	2,345	12.5%	2,626	14.5%	2,916	16.9%	3,291	19.7%	3,736	23.3%
	合計	18,823	100.0%	18,112	100.0%	17,269	100.0%	16,696	100.0%	16,056	100.0%
丹後町	～14歳	2,013	22.5%	1,777	20.6%	1,492	18.6%	1,316	17.3%	1,089	15.2%
	15～64歳	5,472	61.1%	5,271	61.2%	4,823	60.0%	4,337	57.0%	4,020	56.1%
	65歳～	1,471	16.4%	1,563	18.2%	1,727	21.5%	1,954	23.5%	2,055	28.7%
	合計	8,956	100.0%	8,611	100.0%	8,042	100.0%	7,607	100.0%	7,164	100.0%
弥栄町	～14歳	1,474	22.7%	1,341	21.0%	1,224	19.5%	1,112	18.2%	1,037	16.9%
	15～64歳	3,915	60.2%	3,830	60.0%	3,750	59.8%	3,576	58.4%	3,428	55.9%
	65歳～	1,112	17.1%	1,217	19.1%	1,301	20.7%	1,437	23.5%	1,667	27.2%
	合計	6,501	100.0%	6,388	100.0%	6,275	100.0%	6,125	100.0%	6,132	100.0%
久美浜町	～14歳	2,772	21.0%	2,717	20.6%	2,446	19.1%	2,114	17.1%	1,770	14.9%
	15～64歳	8,100	61.5%	7,874	59.8%	7,455	58.1%	6,910	56.0%	6,509	54.9%
	65歳～	2,306	17.5%	2,579	19.6%	2,920	22.8%	3,314	26.9%	3,578	30.2%
	合計	13,178	100.0%	13,170	100.0%	12,821	100.0%	12,338	100.0%	11,857	100.0%
合計	～14歳	17,230	23.6%	15,507	21.7%	13,151	19.0%	11,775	17.5%	10,646	16.2%
	15～64歳	45,131	61.9%	44,281	61.9%	42,881	62.1%	40,537	60.3%	38,332	58.5%
	65歳～	10,605	14.5%	11,753	16.4%	13,053	18.9%	14,896	22.2%	16,600	25.3%
	合計	72,966	100.0%	71,541	100.0%	69,085	100.0%	67,208	100.0%	65,578	100.0%
(参考) 京都府 合計	～14歳	575,948	22.8%	538,628	20.8%	448,900	17.3%	390,138	14.9%	360,531	13.7%
	15～64歳	1,693,183	67.0%	1,757,517	68.0%	1,816,015	70.1%	1,842,467	70.3%	1,810,233	68.8%
	65歳～	257,836	10.2%	289,629	11.2%	327,429	12.6%	386,976	14.8%	459,273	17.5%
	合計	2,526,967	100.0%	2,585,774	100.0%	2,592,344	100.0%	2,619,581	100.0%	2,630,037	100.0%



各町の年齢別人口 (H12)

(4) 交通

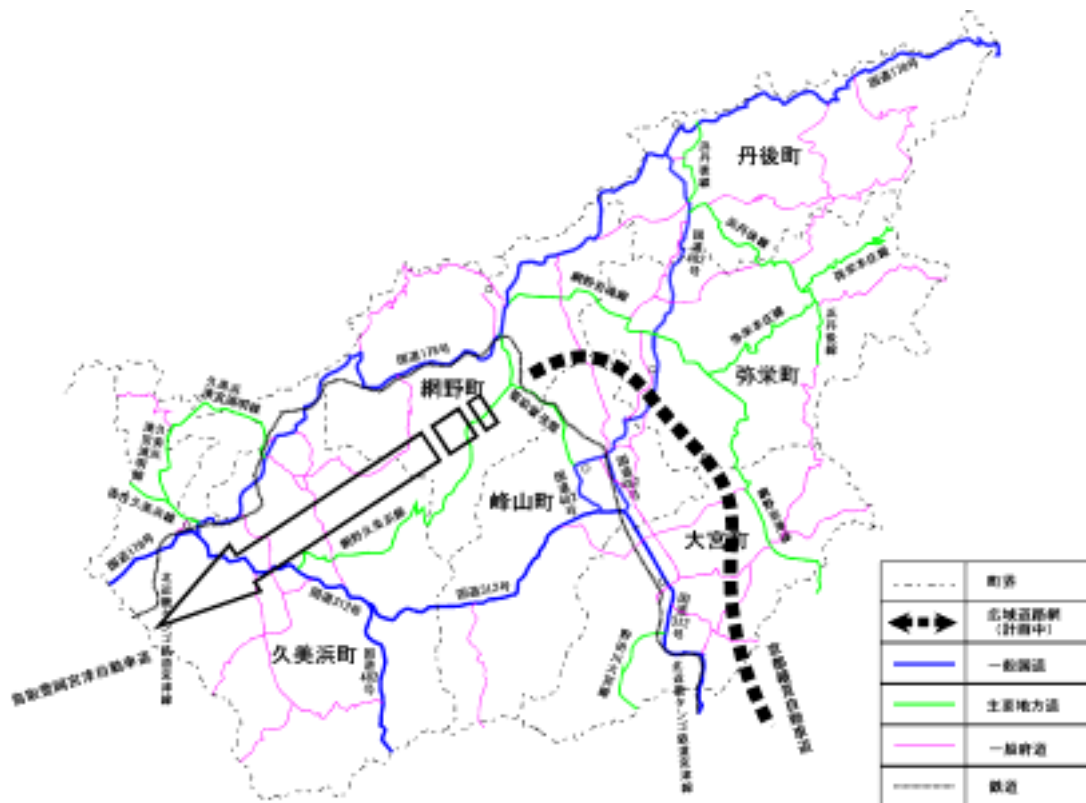
地域の交通網は、広域道路として、京都縦貫自動車道と連絡する鳥取豊岡宮津自動車道(宮津網野線)計画が予定されているものの、未整備の段階である。当地区から京都市までの時間距離は、200分近くかかる現状であり、観光振興(都市圏からの集客)、各種産業振興(都市圏を対象とした展開など)の点においても、アクセスの強化が大きな課題の一つとなっている。

また、主要幹線として、国道178号、312号、482号線が6町を環状に結び、これを補完する形で、主要地方道及び府道が整備されている。

地区内の道路の整備状況は、道路改良率がどの町も50%に満たなく、特に弥栄町は約24%と低い状況にある。また、自動車交通不能道比率も、丹後町で約53%、大宮町で約42%を占めている。

公共交通機関については、鉄道網として、北近畿タンゴ鉄道が、大宮町ー峰山町ー網野町ー久美浜町内を結んで整備されている。この路線はJR線に接続し、京都・大阪方面へ直通特急が運行されるなど、京阪神方面への主要なアクセスとなっている。しかしながら、利用者数(乗車人員)は全体では若干増加しているものの、町ごとには増減が繰り返されている。

一方、乗合バスの利用者数は、年々減少の一途にある。



6町周辺の道路網

京都市までの時間距離

単位：分

峰山町	202
大宮町	192
網野町	213
丹後町	223
弥栄町	208
久美浜町	215

注) ここで言う時間距離とは、役場間の最短ルートを道路設計速度によって走行した場合の時間（高規格道路を除く）

(1997年時点)

資料：市町村行財政研究調査会 研究調査報告平成13年2月市町村行財政研究調査会

地区内の道路整備状況

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
実延長(m)	223,847	125,259	179,560	130,031	167,044	324,325	1,150,066
改良率(%)	47.0	42.3	46.5	28.1	23.5	37.8	
舗装率(%)	52.7	68.9	64.0	55.8	47.2	47.0	
自動車交通不能道比率(%)	26.2	42.1	37.0	53.4	21.4	29.6	

平成12年市町村公共施設状況調査

鉄道乗車人員(宮津線)

(単位:千人)

	旅客	昭和60年度	平成元年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度
峰山町	乗車	170	146	140	126	99
	定期	66	39	49	61	64
	合計	236	185	189	187	163
大宮町	乗車	11	58	63	58	46
	定期	31	27	31	28	29
	合計	42	85	94	86	75
網野町	乗車	143	185	160	192	173
	定期	92	67	64	81	119
	合計	235	252	224	273	292
久美浜町	乗車	61	108	119	136	153
	定期	61	47	46	46	105
	合計	122	155	165	182	258
合計	乗車	385	497	482	512	471
	定期	250	180	190	216	317
	合計	635	677	672	728	788

資料：北近畿タンゴ鉄道
定期は乗車のうち数、年間乗車人数

各年度末現在(単位:台、千人)

	台数	利用者
昭和60年	40	1,733
昭和61年	40	1,909
昭和62年	39	1,539
昭和63年	41	1,548
平成元年	41	1,436
平成2年	42	1,318
平成7年	42	1,064
平成12年	38	838

資料：丹後海陸交通株式会社
定期観光含む

(5) 地域間の連携の現状

1) 日常生活圏域の状況

居住者の通勤先は、概ね7割程度が町内で就業しているが、弥栄町や大宮町においては、他町に比べて低くなっており、地域外での就業が多くなっている。6町の中で自町外での就業先は、峰山町への流入が多くなっている。

その他の生活行動では、「買い物（衣服）」、「休日の外食」、「総合病院」において、久美浜町から兵庫県への行動が見られるものの、6町全体でみると「買い物（食料品）」及び上記の「買い物（衣服）」「休日の外食」、「総合病院」の行動において、自町内だけでなく6町内での活発な行動がみられる。

通勤先別就業者数

町名	就業者数 (常住地)	自町内就業者% (構成比)	就業上位3市町就業者数		
			第1位 (構成比)	第2位 (構成比)	第3位 (構成比)
峰山町	7,045	5,230 (74.2)	大宮町 493 (7.0)	網野町 297 (4.2)	弥栄町 263 (3.7)
大宮町	5,884	3,619 (61.5)	峰山町 1,009 (17.1)	宮津市 330 (5.6)	網野町 160 (2.7)
網野町	8,755	6,685 (76.4)	峰山町 922 (10.5)	大宮町 246 (2.8)	弥栄町 214 (2.4)
丹後町	3,682	2,764 (75.1)	峰山町 325 (8.8)	網野町 216 (5.9)	弥栄町 173 (4.7)
弥栄町	3,084	1,984 (64.3)	峰山町 538 (17.4)	網野町 161 (5.2)	大宮町 140 (4.5)
久美浜町	6,376	4,505 (70.7)	豊岡市 844 (13.2)	峰山町 371 (5.8)	網野町 228 (3.6)

平成12年国勢調査

< その他日常生活行動の動向 >

買物（食料品）



買物(衣服)



他市町村への移動	
----->	他市町村への移動が 5～10%未満
----->	他市町村への移動が10～30%未満
----->	他市町村への移動が30～50%未満
----->	他市町村への移動が50～70%未満
----->	他市町村への移動が70%以上
自市町村での行動	
市町村名	当該市町村内10%未満
市町村名	当該市町村内10～30%未満
市町村名	当該市町村内30～50%未満
市町村名	当該市町村内50～70%未満
市町村名	当該市町村内70%以上
※市町村名に枠や下線がない市町村は、当該市町村内での行動がないことを示す。	

休日の外出



行楽・レジャー



他市町村への移動	
	他市町村への移動が 5～10%未満
	他市町村への移動が10～30%未満
	他市町村への移動が30～50%未満
	他市町村への移動が50～70%未満
	他市町村への移動が70%以上
自市町村での行動	
市町村名	当該市町村内10%未満
市町村名	当該市町村内10～30%未満
市町村名	当該市町村内 30～50%未満
市町村名	当該市町村内 50～70%未満
市町村名	当該市町村内 70%以上
※市町村名に枠や下線がない市町村は、当該市町村内での行動がないことを示す。	

映画・コンサート等



かかりつけ医院



他市町村への移動	
----->	他市町村への移動が 5~10%未満
-----▶	他市町村への移動が 10~30%未満
-----▶	他市町村への移動が 30~50%未満
-----▶	他市町村への移動が 50~70%未満
-----▶	他市町村への移動が 70%以上
自市町村での行動	
市町村名	当該市町村内10%未満
市町村名	当該市町村内10~30%未満
市町村名	当該市町村内30~50%未満
市町村名	当該市町村内50~70%未満
市町村名	当該市町村内70%以上
※市町村名に枠や下線がない市町村は、当該市町村内での行動がないことを示す。	

総合病院



スポーツ



他市町村への移動	
----->	他市町村への移動が 5～10%未満
----->	他市町村への移動が10～30%未満
----->	他市町村への移動が30～50%未満
----->	他市町村への移動が50～70%未満
----->	他市町村への移動が70%以上
自市町村での行動	
市町村名	当該市町村内10%未満
市町村名	当該市町村内10～30%未満
市町村名	当該市町村内 30～50%未満
市町村名	当該市町村内 50～70%未満
市町村名	当該市町村内 70%以上
※市町村名に枠や下線がない市町村は、当該市町村内での行動がないことを示す。	

教養・文化



図書館



他市町村への移動	
	他市町村への移動が 5～10%未満
	他市町村への移動が 10～30%未満
	他市町村への移動が 30～50%未満
	他市町村への移動が 50～70%未満
	他市町村への移動が 70%以上
自市町村での行動	
市町村名	当該市町村内 10%未満
市町村名	当該市町村内 10～30%未満
市町村名	当該市町村内 30～50%未満
市町村名	当該市町村内 50～70%未満
市町村名	当該市町村内 70%以上
※市町村名に枠や下線がない市町村は、当該市町村内での行動がないことを示す。	

資料：これからの市町村のあり方に関する府民意識調査各種団体関係者意識調査結果報告書

平成 14 年 3 月 市町村行財政研究調査会

2) 広域行政等の現状

現在6町は、峰山地方振興局等の管轄区域等で、一つの圏域として捉えられているだけでなく、消防やし尿、ごみ処理等の組合において、多岐に連携した事業が行われている。

	郡			JA	地方振興局 管内区域	税務署 管轄区域	簡易裁判所 管轄区域	公共職業 安定所 管轄区域
	中	竹野	熊野	京都丹後	峰山	峰山	峰山	峰山
峰山町								
大宮町								
網野町								
丹後町								
弥栄町								
久美浜町								
備考				他1市3町				

	火葬場	し尿	ごみ処理		消防	広域 市町村圏	府議会議員 選挙区区域	
	竹野川環境 衛生組合	竹野川環境 衛生組合	竹野郡塵芥処 理組合	丹後広域廃棄 物処理施設	丹後広域 消防組合	丹後地区 広域市町村圏	中郡及び 熊野郡	竹野郡
峰山町								
大宮町								
網野町								○
丹後町								○
弥栄町								○
久美浜町								
備考			不燃物ごみ	可燃ごみ 資源ごみ		他1市4町		

資料：市町村行財政研究調査会 研究調査報告平成13年2月市町村行財政研究調査会

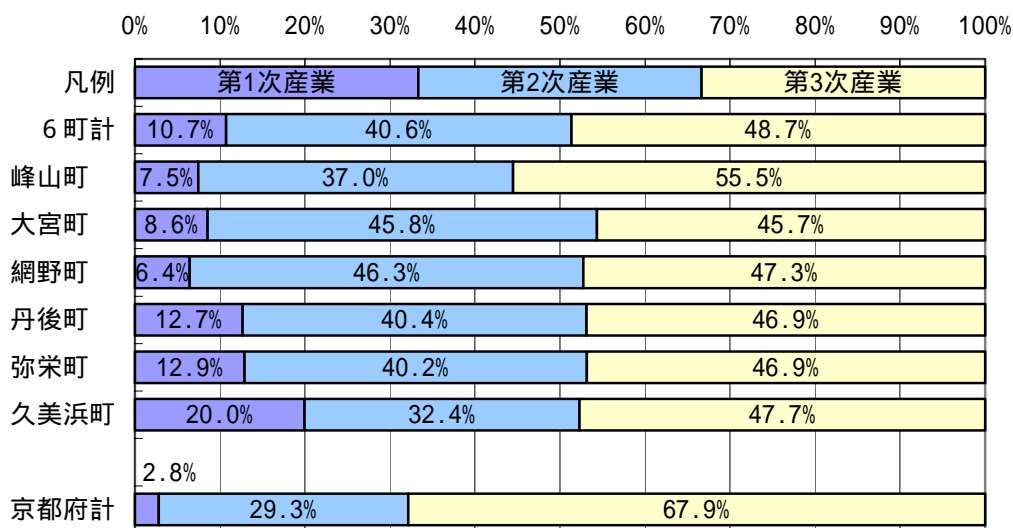
(6) 産業

1) 産業別就業者数

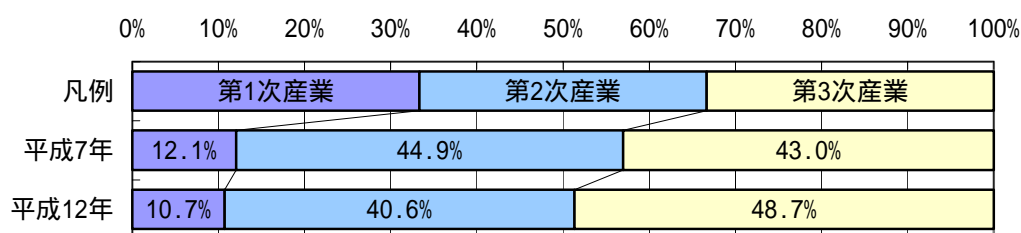
6町の産業別の就業者数は、第1次産業が10.7%、第2次産業が40.6%と、京都府全体の割合と比べても、極めて高くなっている。近隣市と比べても、特に第2次産業の割合の高さが顕著である。この傾向は、概ね各町に共通してみられるが、久美浜町における第1次産業の割合の高さ、網野町、大宮町における第2次産業の割合の高さが際立っている。しかしながら、この第1次産業及び第2次産業は、就業者数、割合ともに近年低まる傾向にある。

産業分類別でみると、第1次産業は農業、第2次産業は製造業、第3次産業はサービス業の就業者数が多くなっている。このうち、農業及び製造業は、その人数が大幅に減少してきており、地区全体の産業構造の変化に大きく影響している。

65歳以上の就業者割合をみると、第1次産業が峰山町の約71%を筆頭に、6町全体でも63.3%と特に高くなっており、就業者の高齢化の課題が伺える。



6町の産業別就業者数の割合（平成12年）



6町の産業別就業者数の推移

6町の分類別就業者数の推移

		総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸・売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務(他に分類されないもの)	分類不能の産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
峰山町	H7	7,784	672	2	1		653	2,424	36	239	1,657	203	14	1,629	252	2	675	3,077	4,030
		100.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.4%	31.1%	0.5%	3.1%	21.3%	2.6%	0.2%	20.9%	3.2%	0.0%	8.7%	39.5%	51.8%
	H12	7,045	511	15	1	11	705	1,892	45	214	1,524	139	20	1,717	251	9	527	2,608	3,910
		100.0%	7.3%	0.2%	0.0%	0.2%	10.0%	26.9%	0.6%	3.0%	21.6%	2.0%	0.3%	24.4%	3.6%	0.0%	7.5%	37.0%	55.5%
大宮町	H12-H7	-739	-161	13	0	11	52	-532	9	-25	-133	-64	6	88	-1	-2	-148	-469	-120
		-	-1.4%	0.2%	0.0%	0.2%	1.6%	-4.3%	0.2%	0.0%	0.3%	-0.6%	0.1%	3.4%	0.3%	0.0%	-1.2%	-2.5%	3.7%
	H7	6,094	615	10	1		526	2,401	15	163	956	93	9	1,113	189	3	626	2,927	2,538
		100.0%	10.1%	0.2%	0.0%	0.0%	8.6%	39.4%	0.2%	2.7%	15.7%	1.5%	0.1%	18.3%	3.1%	0.0%	10.3%	48.1%	41.7%
網野町	H12	5,884	500	3		3	650	2,037	27	165	1,002	101	15	1,149	223	9	503	2,690	2,682
		100.0%	8.5%	0.1%	0.0%	0.1%	11.0%	34.6%	0.5%	2.8%	17.0%	1.7%	0.3%	19.5%	3.8%	0.2%	8.6%	45.8%	45.7%
	H12-H7	-210	-115	-7	-1	3	124	-364	12	2	46	8	6	36	34	6	-123	-237	144
		-	-1.6%	-0.1%	0.0%	0.1%	2.4%	-4.8%	0.2%	0.1%	1.3%	0.2%	0.1%	1.3%	0.7%	0.1%	-1.7%	-2.3%	4.0%
丹後町	H7	9,537	555	8	116	35	800	4,274	17	180	1,537	170	4	1,627	213	1	679	5,109	3,748
		100.0%	5.8%	0.1%	1.2%	0.4%	8.4%	44.8%	0.2%	1.9%	16.1%	1.8%	0.0%	17.1%	2.2%	0.0%	7.1%	53.6%	39.3%
	H12	8,755	427	20	116	33	826	3,192	16	181	1,504	141	10	2,058	224	7	563	4,051	4,134
		100.0%	4.9%	0.2%	1.3%	0.4%	9.4%	36.5%	0.2%	2.1%	17.2%	1.6%	0.1%	23.5%	2.6%	0.1%	6.4%	46.3%	47.3%
弥栄町	H12-H7	-782	-128	12	0	-2	26	-1,082	-1	1	-33	-29	6	431	11	6	-116	-1,058	386
		-	-0.9%	0.1%	0.1%	0.0%	1.0%	-8.4%	0.0%	0.2%	1.1%	-0.2%	0.1%	6.4%	0.3%	0.1%	-0.7%	-7.3%	8.0%
	H7	4,198	443	15	101	4	395	1,480	7	70	539	62	1	792	287	2	559	1,879	1,758
		100.0%	10.6%	0.4%	2.4%	0.1%	9.4%	35.3%	0.2%	1.7%	12.8%	1.5%	0.0%	18.9%	6.8%	0.0%	13.3%	44.8%	41.9%
久美浜町	H12	3,682	365	3	98	6	406	1,073	7	77	502	46	2	842	247	8	466	1,485	1,723
		100.0%	9.9%	0.1%	2.7%	0.2%	11.0%	29.1%	0.2%	2.1%	13.6%	1.2%	0.1%	22.9%	6.7%	0.2%	12.7%	40.4%	46.9%
	H12-H7	-516	-78	-12	-3	2	11	-407	0	7	-37	-16	1	50	-40	6	-93	-394	-35
		-	-0.6%	-0.3%	0.3%	0.1%	1.6%	-6.1%	0.0%	0.4%	0.8%	-0.2%	0.0%	4.0%	-0.1%	0.2%	-0.6%	-4.4%	5.0%
6町計	H7	3,391	513	7	1	5	324	1,237	6	74	318	59		734	108	5	521	1,566	1,299
		100.0%	15.1%	0.2%	0.0%	0.1%	9.6%	36.5%	0.2%	2.2%	9.4%	1.7%	0.0%	21.6%	3.2%	0.1%	15.4%	46.2%	38.4%
	H12	3,084	388	9	1	12	336	891	12	66	345	54		850	117	3	398	1,239	1,444
		100.0%	12.6%	0.3%	0.0%	0.4%	10.9%	28.9%	0.4%	2.1%	11.2%	1.8%	0.0%	27.6%	3.8%	0.1%	12.9%	40.2%	46.9%
京都府計	H12-H7	-307	-125	2	0	7	12	-346	6	-8	27	-5	0	116	9	-2	-123	-327	145
		-	-2.5%	0.1%	0.0%	0.2%	1.3%	-7.6%	0.2%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	5.9%	0.6%	-0.1%	-2.5%	-6.0%	8.5%
	H7	6,999	1,470	6	40	2	714	1,789	11	176	801	80	9	1,679	204	18	1,516	2,505	2,960
		100.0%	21.0%	0.1%	0.6%	0.0%	10.2%	25.6%	0.2%	2.5%	11.4%	1.1%	0.1%	24.0%	2.9%	0.3%	21.7%	35.9%	42.4%
府シエア	H12	6,376	1,193	13	66	10	783	1,269	18	165	839	87	5	1,694	232	2	1,272	2,062	3,040
		100.0%	18.7%	0.2%	1.0%	0.2%	12.3%	19.9%	0.3%	2.6%	13.2%	1.4%	0.1%	26.6%	3.6%	0.0%	20.0%	32.4%	47.7%
	H12-H7	-623	-277	7	26	8	69	-520	7	-11	38	7	-4	15	28	-16	-244	-443	80
		-	-2.3%	0.1%	0.5%	0.1%	2.1%	-5.7%	0.1%	0.1%	1.7%	0.2%	-0.1%	2.6%	0.7%	-0.2%	-1.8%	-3.5%	5.3%
宮津市	H7	38,003	4,268	48	260	46	3,412	13,605	92	902	5,808	667	37	7,574	1,253	31	4,576	17,063	16,333
		100.0%	11.2%	0.1%	0.7%	0.1%	9.0%	35.8%	0.2%	2.4%	15.3%	1.8%	0.1%	19.9%	3.3%	0.1%	12.1%	44.9%	43.0%
	H12	34,826	3,384	63	282	75	3,706	10,354	125	868	5,716	568	52	8,310	1,294	29	3,729	14,135	16,933
		100.0%	9.7%	0.2%	0.8%	0.2%	10.6%	29.7%	0.4%	2.5%	16.4%	1.6%	0.1%	23.9%	3.7%	0.1%	10.7%	40.6%	48.7%
福知山市	H12-H7	-3,177	-884	15	22	29	294	-3,251	33	-34	-92	-99	15	736	41	-2	-847	-2,928	600
		-	-1.5%	0.1%	0.1%	0.1%	1.7%	-6.1%	0.1%	0.1%	1.1%	-0.1%	0.1%	3.9%	0.4%	0.0%	-1.3%	-4.3%	5.6%
	H7	2,990	10,500	3,100	24,400	9,500	3,200	4,600	1,300	1,200	1,800	1,800	2,200	3,000	2,200	3,000	10,600	4,200	1,900
		100.0%	10.4%	5.1%	29.8%	13.6%	3.5%	4.0%	1.9%	1.2%	1.8%	1.8%	0.3%	2.3%	3.1%	0.1%	10.7%	3.9%	2.0%
舞鶴市	H12-H7	-0,100	-0,200	2,000	5,400	4,100	0,300	-0,600	0,600	0,000	0,000	0,000	0,100	0,200	0,100	0,000	0,100	-0,400	0,100
		-	-0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.0%	0.1%	-0.4%	0.1%
	H7	1,315,528	40,584	1,545	1,065	483	105,813	295,278	7,109	72,845	324,381	37,479	16,275	351,502	41,921	19,248	43,194	401,574	851,512
		100.0%	3.1%	0.1%	0.1%	0.0%	8.0%	22.4%	0.5%	5.5%	24.7%	2.8%	1.2%	26.7%	3.2%	1.5%	3.3%	31.0%	65.7%
宮津市	H12	1,270,485	32,679	1,227	947	551	104,488	260,727	6,463	72,013	317,183	32,351	17,539	358,353	42,214	23,750	34,853	365,766	846,116
		100.0%	2.6%	0.1%	0.1%	0.0%	8.2%	20.5%	0.5%	5.7%	25.0%	2.5%	1.4%	28.2%	3.3%	1.9%	2.8%	29.3%	67.9%
	H12	11,543	859	27	188	18	1,459	1,510	120	504	2,629	277	62	3,372	478	40	1,074	2,987	7,442
		100.0%	7.4%	0.2%	1.6%	0.2%	12.6%	13.1%	1.0%	4.4%	22.8%	2.4%	0.5%	29.2%	4.1%	0.3%	9.3%	26.0%	64.7%
福知山市	H12	35,218	2,289	22	2	39	4,069	7,706	229	1,900	7,760	825	227	8,161	1,880	109	2,313	11,814	20,982
		100.0%	6.5%	0.1%	0.0%	0.1%	11.6%	21.9%	0.7%	5.4%	22.0%	2.3%	0.6%	23.2%	5.3%	0.3%	6.6%	33.6%	59.8%
	H12	46,350	2,190	53	273	71	6,573	7,281	412	2,201	9,390	1,112	243	11,332	4,965	254	2,516	13,925	29,655
		100.0%	4.7%	0.1%	0.6%	0.2%	14.2%	15.7%	0.9%	4.7%	20.3%	2.4%	0.5%	24.4%	10.7%	0.5%	5.5%	30.2%	64.3%

第1次～第3次産業の割合は、分類不能を除いて計上
資料：事業所・企業統計

65歳以上就業者の割合（平成12年）

		第1次産業	第2次産業	第3次産業
峰山町	就業者数	527	2,608	3,910
	65歳以上就業者	376	246	368
	65歳以上比率	71.3%	9.4%	9.4%
大宮町	就業者数	503	2,690	2,682
	65歳以上就業者	348	350	180
	65歳以上比率	69.2%	13.0%	6.7%
網野町	就業者数	563	4,051	4,134
	65歳以上就業者	268	553	331
	65歳以上比率	47.6%	13.7%	8.0%
丹後町	就業者数	466	1,485	1,723
	65歳以上就業者	290	193	153
	65歳以上比率	62.2%	13.0%	8.9%
弥栄町	就業者数	398	1,239	1,444
	65歳以上就業者	257	161	90
	65歳以上比率	64.6%	13.0%	6.2%
久美浜町	就業者数	1,272	2,062	3,040
	65歳以上就業者	823	241	272
	65歳以上比率	64.7%	11.7%	8.9%
6町計	就業者数	3,729	14,135	16,933
	65歳以上就業者	2,362	1,744	1,394
	65歳以上比率	63.3%	12.3%	8.2%

分類不能を除く
資料：事業所・企業統計

2) 農業

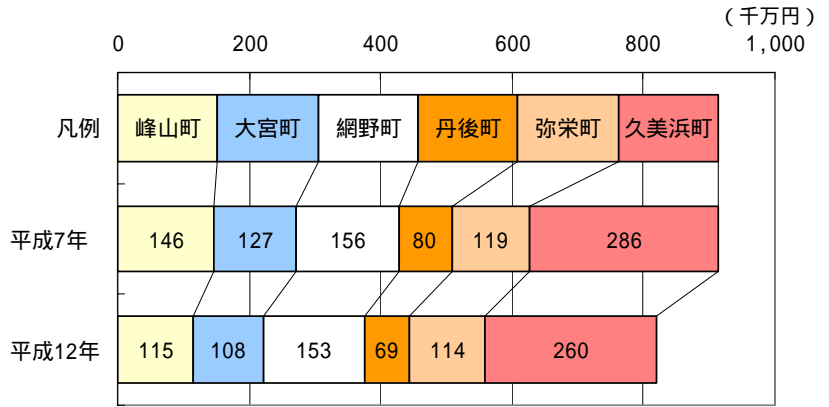
農業について、農業粗生産額をみると、6町全体で京都府の11.1%（H12）を占めており、近隣市と比べてもその額は大きい。特に久美浜町及び網野町において高い額を示している。

平成7年から12年の推移をみると、特に峰山町（-31千万円）、久美浜町（-26千万円）における減少が著しく、6町全体でも95千万円の減少となっている。

耕種別の内訳をみると、すべての町において、米の生産額が最も多く、6町全体でも京都府全体の17.2%を占めている。また、丹後国営農地開発事業地区を中心に多品種栽培されている野菜のほか、網野町等における畜産や、久美浜町等における果実の生産額も高くなっている。このほか、ハウス等を活用した新たな品種の栽培なども進められている。

一方、農家の状況を専業・兼業別でみると、兼業農家の割合が86.8%を占めている。特に農業が従である第2種兼業農家の割合が、峰山町の約83%を筆頭に、6町全体でも76.7%を占め、京都府全体と比較しても高い割合を示している。

		農業 粗生産額
峰山町	H7	146
	H12	115
	H12-H7	-31
大宮町	H7	127
	H12	108
	H12-H7	-19
網野町	H7	156
	H12	153
	H12-H7	-3
丹後町	H7	80
	H12	69
	H12-H7	-11
弥栄町	H7	119
	H12	114
	H12-H7	-5
久美浜町	H7	286
	H12	260
	H12-H7	-26
6町計	H7	914
	H12	819
	H12-H7	-95
府江 ^ア	H7	11.4%
	H12	11.1%
	H12-H7	-0.4%
京都計	H7	8,007
	H12	7,406
宮津市	H7	166
	H12	133
福知山市	H7	359
	H12	304
舞鶴市	H7	250
	H12	239



農業粗生産額の推移

耕種別農業粗生産額 (平成 12 年)

(単位: 千万円)

自治体	総数	第 1 位	第 2 位	第 3 位
峰山町	115	米	野菜	畜産
		78 (67.8%)	20 (17.4%)	7 (6.1%)
大宮町	108	米	野菜	工芸農作物
		69 (63.9%)	23 (21.3%)	4 (3.7%)
				種苗・苗木 その他
網野町	153	米	畜産	野菜
		47 (30.7%)	43 (28.1%)	27 (17.6%)
丹後町	69	米	野菜	畜産
		42 (60.9%)	12 (17.4%)	6 (8.7%)
弥栄町	114	米	畜産	野菜
		57 (50.0%)	19 (16.7%)	15 (13.2%)
久美浜町	260	米	野菜	果実
		109 (41.9%)	58 (22.3%)	54 (20.8%)
6町計	819	米	野菜	畜産
		402 (49.1%)	155 (18.9%)	81 (9.9%)
京都府	7,406	野菜	米	畜産
		2,381	2,344	1,164
宮津市	133	米	野菜	花き
		58	45	10
福知山市	304	米	野菜	畜産
		163	61	52
舞鶴市	239	米	野菜	畜産
		96	71	43

資料: 京都府統計書

専業・兼業農家（平成 12 年）

（単位：戸）

販売農家計	計	専業農家	兼業農家	農業が主 第1種兼業	農業が従 第2種兼業
6町計	3,271	432	2,839	330	2,509
	100.0%	13.2%	86.8%	10.1%	76.7%
峰山町	616	63	553	44	509
	100.0%	10.2%	89.8%	7.1%	82.6%
大宮町	490	70	420	64	356
	100.0%	14.3%	85.7%	13.1%	72.7%
網野町	328	58	270	40	230
	100.0%	17.7%	82.3%	12.2%	70.1%
丹後町	335	41	294	38	256
	100.0%	12.2%	87.8%	11.3%	76.4%
弥栄町	419	62	357	48	309
	100.0%	14.8%	85.2%	11.5%	73.7%
久美浜町	1,083	138	945	96	849
	100.0%	12.7%	87.3%	8.9%	78.4%
京都府	28,857	4,788	24,069	3,024	21,045
	100.0%	16.6%	83.4%	10.5%	72.9%

資料：京都府統計書

3) 漁業

京都府内では、6町内の丹後町、網野町、久美浜町を含めた日本海側2市4町で漁業が営まれているが、地域内の3町で、京都府の36.0%にあたる経営体数を有している。このうち、海面養殖においては、久美浜町が府内の約44%にあたる81の経営体を有していることも特徴的である。

経営体階層別海面漁業経営体数（平成 11 年）

	総数	漁船非使用	漁船使用	大型定置網	小型定置網	地引網	海面養殖
丹後町	169	3	162	1	1	0	2
	41.4%	100.0%	51.3%	25.0%	50.0%		2.4%
網野町	106		103	2	1	0	
	26.0%	0.0%	32.6%	50.0%	50.0%		0.0%
久美浜町	133		51	1	0	0	81
	32.6%	0.0%	16.1%	25.0%	0.0%		97.6%
計	408	3	316	4	2	0	83
	府シェア	36.0%	60.0%	37.0%	21.1%	3.0%	0.0%
京都計	1,133	5	853	19	66	5	185

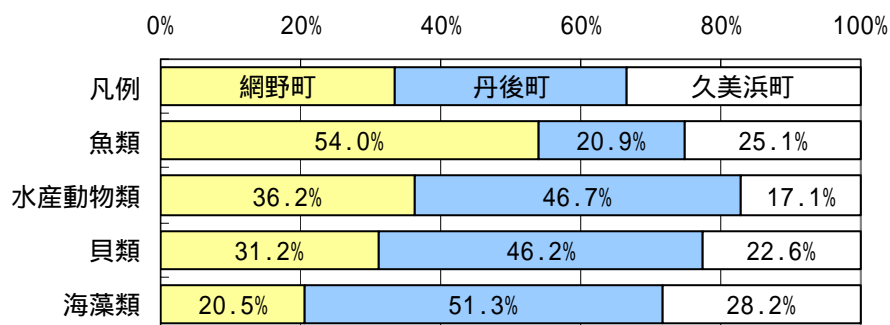
資料：京都府統計書

魚類別漁獲量の割合をみると、6町全体で京都府全体の13.8%（平成12年）のシェアを占めている。その内訳は、網野町を中心に魚類が最も高くなっているほか、カニ等の水産動物類が丹後町を中心に多く、全体で京都府の29.2%（平成12年）のシェアを占めており、平成7年と比較しても高い漁獲量となっている。

魚類別漁獲量の推移

(単位:t)

		計	魚類	水産動物類	貝類	海藻類
網野町	H7	1,213	1,040	147	28	5
	H12	1,322	1,102	184	29	8
	H12-H7	109	62	37	1	3
丹後町	H7	785	557	141	30	18
	H12	729	426	237	43	20
	H12-H7	-56	-131	96	13	2
久美浜町	H7	600	438	33	99	4
	H12	631	513	87	21	11
	H12-H7	31	75	54	-78	7
計	H7	2,598	2,035	321	157	27
	H12	2,682	2,041	508	93	39
	H12-H7	84	6	187	-64	12
府シェア	H12	13.8%	12.0%	29.2%	18.7%	21.0%
京都府計	H12	19,427	17,005	1,740	498	186



魚類別漁獲量の割合（平成12年）

資料：京都府漁業の動き

4) 工業

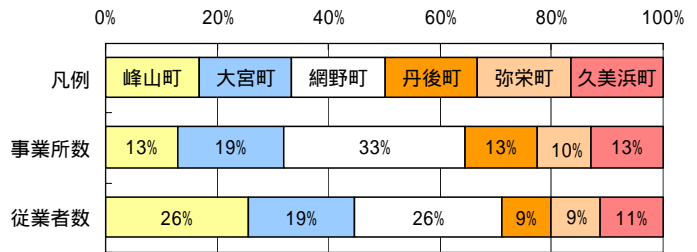
工業は、事業所数、従業者数共に近隣市と比べてもその数は多いが、平成8年から11年の間に大きく減少している（事業所数21.3%減、従業者数18.5%減）。

事業所数では網野町が6町全体の約1/3、従業者数においては、峰山町及び網野町がそれぞれ約1/4を占めている。平成8年から11年の間の推移は、すべての町において事業所数、従業者数共に減少している。

工業事業者数及び従業者数の推移

		事業所数	従業者数
峰山町	H8	606	3,768
	H11	490	3,507
	H11-H8	-116	-261
大宮町	H8	933	3,144
	H11	731	2,582
	H11-H8	-202	-562
網野町	H8	1,470	4,669
	H11	1,246	3,607
	H11-H8	-224	-1,062
丹後町	H8	682	1,705
	H11	488	1,187
	H11-H8	-194	-518
弥栄町	H8	446	1,381
	H11	369	1,195
	H11-H8	-77	-186
久美浜町	H8	721	2,044
	H11	496	1,539
	H11-H8	-225	-505
6町計	H8	4,858	16,711
	H11	3,820	13,617
	H11-H8	-1,038	-3,094
府シ7	H11	11.0%	4.3%
京都府計	H11	34,707	315,863
宮津市	H11	437	2,557
福知山市	H11	787	11,104
舞鶴市	H11	889	10,818

資料：事業所・企業統計



製造業についてその内訳をみると、事業所数では「繊維工業」が6町全体の82.0%を占め、すべての町においても最も多く、6割以上を占めている。事業所ごとの従業者数は、6町全体の88.9%が4人未満となっており、京都府全体や近隣市と比較しても、その割合は非常に高くなっている。

従業者数においても、「繊維工業」が6町全体の過半数を占めており、最も多くなっているが、峰山町で「輸送用機械器具製造業」が最も多くなっている。

製造品出荷額等では、6町全体で「輸送用機械器具製造業」が最も高く、次いで「繊維工業」となっている。

主要な業種（6町全体の事業所数、従業者数、製造品出荷額等がそれぞれ上位3位以内）について、事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移をみると、「繊維工業」においてその減少が著しく、特に製造品出荷額等は50%以上の減少率となっている。一方、「一般機械器具製造業」や「輸送用機械器具製造業」については、製造品出荷額等において伸びを示している。

製造業事業所数の状況（平成12年 上位3項目）

	総数	第1位	第2位	第3位
峰山町	321	繊維工業 193 (60.1%)	一般機械器具製造業 26 (8.1%)	衣服その他の繊維製品製造業 17 (5.3%)
大宮町	559	繊維工業 453 (81.0%)	一般機械器具製造業 34 (6.1%)	衣服その他の繊維製品製造業 25 (4.5%)
網野町	1,036	繊維工業 939 (90.6%)	一般機械器具製造業 25 (2.4%)	衣服その他の繊維製品製造業 23 (2.2%)
丹後町	386	繊維工業 333 (86.3%)	一般機械器具製造業 8 (2.1%)	食料品製造業 8 (2.1%)
弥栄町	234	繊維工業 181 (77.4%)	一般機械器具製造業 15 (6.4%)	衣服その他の繊維製品製造業 7 (3.0%)
久美浜町	325	繊維工業 248 (76.3%)	なめしかわ・同製品・毛皮製造業 14 (4.3%)	家具・装備品製造業 9 (2.8%)
6町計	2,861	繊維工業 2,347 (82.0%)	一般機械器具製造業 111 (3.9%)	衣服その他の繊維製品製造業 83 (2.9%)
京都府	18,153	衣服その他の繊維製品製造業 7,483	一般機械器具製造業 1,266	金属製品製造業 1,136
宮津市	217	繊維工業 100	食料品製造業 58	衣服その他の繊維製品製造業 23
福知山市	300	金属製品製造業 36	食料品製造業 31	その他の製造業 24
舞鶴市	327	食料品製造業 79	金属製品製造業 41	衣服その他の繊維製品製造業 40

製造業事業所数の内訳（平成12年）

	事業所総数	4人未満	
		4人未満	4人未満の割合
峰山町	321	250	77.9%
大宮町	559	491	87.8%
網野町	1,036	950	91.7%
丹後町	386	357	92.5%
弥栄町	234	204	87.2%
久美浜町	325	291	89.5%
6町計	2,861	2,543	88.9%
京都府計	18,153	10,554	58.1%
宮津市	217	157	72.4%
福知山市	300	121	40.3%
舞鶴市	327	111	33.9%

製造業従業者数の状況（平成12年 上位3項目）（単位：人）

	総数	第1位	第2位	第3位
峰山町	2,511	輸送用機械器具製造業 872 (34.7%)	繊維工業 469 (18.7%)	一般機械器具製造業 382 (15.2%)
大宮町	1,942	繊維工業 943 (48.6%)	食料品製造業 295 (15.2%)	一般機械器具製造業 242 (12.5%)
網野町	2,574	繊維工業 2,115 (82.2%)	一般機械器具製造業 94 (3.7%)	衣服その他の繊維製品製造業 79 (3.1%)
丹後町	779	繊維工業 553 (71.0%)	金属製品製造業 77 (9.9%)	一般機械器具製造業 49 (6.3%)
弥栄町	644	繊維工業 347 (53.9%)	窯業・土石製品製造業 94 (14.6%)	プラスチック・石炭製品製造業 72 (11.2%)
久美浜町	1,032	繊維工業 371 (35.9%)	その他の製造業 212 (20.5%)	衣服その他の繊維製品製造業 114 (11.0%)
6町計	9,482	繊維工業 4,798 (50.6%)	輸送用機械器具製造業 988 (10.4%)	一般機械器具製造業 833 (8.8%)
京都府	195,947	電気機械器具製造業 30,914	繊維工業 25,185	食料品製造業 22,812
宮津市	1,127	衣服その他の繊維製品製造業 448	食料品製造業 294	繊維工業 173
福知山市	6,784	電気機械器具製造業 1,034	精密機械器具製造業 852	化学工業 657
舞鶴市	5,945	窯業・土石製品製造業 1,120	輸送用機械器具製造業 889	衣服その他の繊維製品製造業 747

製造品出荷額等の状況（平成12年 上位3項目）（単位：人）

	総数	第1位	第2位	第3位
峰山町	36,083	輸送用機械器具製造業 18,376 (50.9%)	一般機械器具製造業 5,773 (16.0%)	電気機械器具製造業 3,047 (8.4%)
大宮町	17,638	食料品製造業 7,679 (43.5%)	繊維工業 3,139 (17.9%)	一般機械器具製造業 2,900 (16.4%)
網野町	10,274	繊維工業 7,415 (72.2%)	一般機械器具製造業 653 (6.4%)	木材・木製品製造業 437 (4.3%)
丹後町	3,198	繊維工業 1,391 (43.5%)	金属製品製造業 909 (28.4%)	一般機械器具製造業 500 (15.6%)
弥栄町	4,421	繊維工業 1,287 (29.1%)	窯業・土石製品製造業 1,240 (28.1%)	プラスチック・石炭製品製造業 898 (20.3%)
久美浜町	8,646	その他の製造業 4,464 (51.6%)	一般機械器具製造業 769 (8.9%)	食料品製造業 616 (7.1%)
6町計	80,260	輸送用機械器具製造業 19,920 (24.8%)	繊維工業 16,216 (20.2%)	一般機械器具製造業 10,988 (13.7%)
京都府	5,971,858	電気機械器具製造業 1,157,052	輸送用機械器具製造業 737,241	飲料・たばこ・飼料 679,001
宮津市	14,589	衣服その他の繊維製品製造業 7,705	食料品製造業 4,180	繊維工業 859
福知山市	214,856	精密機械器具製造業 40,661	電気機械器具製造業 31,666	化学工業 28,943
舞鶴市	202,297	窯業・土石製品製造業 66,938	飲料・たばこ・飼料 39,453	輸送用機械器具製造業 33,999

産業中分類別製造業の推移（6町合計 上位項目のみ）

（単位：百万円）

		繊維工業	衣服その他の繊維製品製造業	一般機械器具製造業	輸送用機械器具製造業
事業所数	H7	3,712	87	111	29
	H12	2,347	83	111	25
	H12-H7	-1,365	-4	0	-4
	(増減率)	-36.8%	-4.6%	0.0%	-13.8%
従業員数	H7	7,871	638	868	1,016
	H12	4,798	434	833	988
	H12-H7	-3,073	-204	-35	-28
	(増減率)	-39.0%	-32.0%	-4.0%	-2.8%
製造品出荷額等	H7	36,605	2,672	9,010	17,712
	H12	16,216	1,575	10,988	19,920
	H12-H7	-20,389	-1,097	1,978	2,208
	(増減率)	-55.7%	-41.1%	22.0%	12.5%

資料：京都府の工業

5) 商業

商店数は峰山町、網野町の割合が高く、6町全体で京都府全体の2.9%、近隣の福知山市とほぼ同程度の数を有している。

一方、従業者数及び年間商品販売額等は、6町における峰山町の割合が商店数と比べて大きくなるが、京都府全体に対する割合はそれぞれ1.9%、1.4%と商店数に比べ低くなっており、一店舗当たりの従業者数及び年間商品販売額等も少ない。

平成6年から11年までの推移をみると、従業者数がほぼ横ばいなのに対し、商店数で8.8%減、年間商品販売額等で11.9%減と、特に減少の傾向が強くなっている。

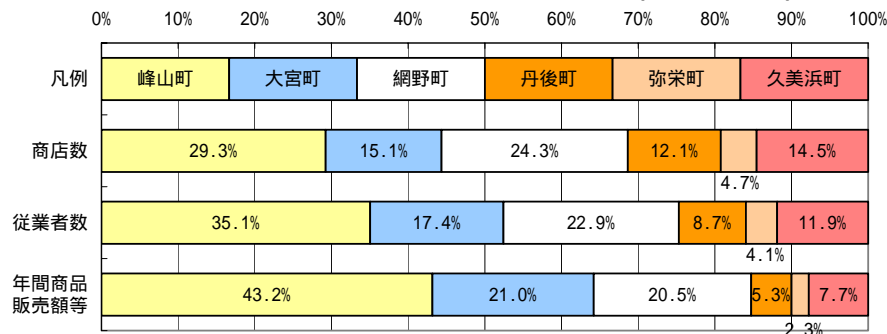
また、大規模店舗は、峰山町に集中して立地している。

商店数、事業者数、年間販売額等

(単位：人、百万円)

		商店数	従業者数	年間商品販売額等
峰山町	H11	364	1,794	52,205
		29.3%	35.1%	43.2%
大宮町	H11	188	888	25,433
		15.1%	17.4%	21.0%
網野町	H11	302	1,172	24,829
		24.3%	22.9%	20.5%
丹後町	H11	151	447	6,366
		12.1%	8.7%	5.3%
弥栄町	H11	58	209	2,731
		4.7%	4.1%	2.3%
久美浜町	H11	181	607	9,368
		14.5%	11.9%	7.7%
6町計	H6	1,364	5,200	137,259
	H11	1,244	5,117	120,932
	H11-H6	-120	-83	-16,327
府シェア	H11	2.9%	1.9%	1.4%
京都計	H11	42,480	275,904	8,824,399
宮津市	H11	529	2,538	44,999
福知山市	H11	1,322	8,727	260,195
舞鶴市	H11	1,681	8,848	230,606

商店数、事業者数、年間販売額等の割合（平成11年）



資料：京都府統計書

大規模店舗の数

	第一種	第二種	合計
峰山町	31	4	35
大宮町		1	1
網野町	1	4	5
丹後町		1	1
弥栄町			0
久美浜町		1	1
6町計	32	11	43

注) 第1種：1つの建物内の店舗面積の合計が3,000㎡(京都市においては6,000㎡)以上である建物

第2種：1つの建物内の店舗面積の合計が500㎡を超え3,000㎡(京都市においては6,000㎡)未満である建物

資料：平成11年 京都府の商業

6) 観光

年間観光客数は、網野町、久美浜町、丹後町の日本海側3町で特に多くなっている。その内訳をみると、6町全体では日帰り客が全体の72.1%を占めているが、網野町では過半数が宿泊客となっている一方で、峰山町、大宮町及び弥栄町では1割に満たないなど、町ごとのばらつきが大きくなっている。

年間観光客数

平成12年実績

		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
		143,345	114,534	589,200	401,700	368,183	502,730	2,119,692
内 訳	日 帰 り 客	140,567	103,441	265,400	269,800	358,951	390,880	1,529,039
	割合	98.1%	90.3%	45.0%	67.2%	97.5%	77.8%	72.1%
	宿 泊 客	2,778	11,093	323,800	131,900	9,232	111,850	590,653
	割合	1.9%	9.7%	55.0%	32.8%	2.5%	22.2%	27.9%

(各町観光担当課より数値提供)

観光客の傾向について、6町を含む丹後地域11市町を対象としたアンケート結果をみると、2回以上訪れている観光客が全体の約8割を占めており、冬期においてはさらに高い割合を示している。また、夏期においては5回以上繰り返して訪れる割合が高くなっている。

旅行の目的は、夏期における「キャンプ・アウトドアー」の割合が高く、海水浴客の集客の高さが伺える。また、冬期においては、「料理・特産品」、次いで「休養・保養」の割合が高く、カニ料理や温泉といった地域資源を対象とした旅行が多くなっていると考えられる。

丹後地域入れ込みニーズに関する調査(丹後地域11市町を対象)

丹後地域に来られたのは何回目ですか。

単位：人・%

	総合計		夏		秋		冬	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
初めて	135	21.4	43	21.3	56	26.2	36	16.7
2回目	89	14.1	20	9.9	32	15.0	37	17.1
3~4回目	137	21.7	36	17.8	53	24.8	48	22.2
5回以上	97	15.3	40	19.8	25	11.7	32	14.8
10回以上	123	19.5	50	24.8	35	16.4	38	17.6
地域出身	25	4.0	7	3.5	9	4.2	9	4.2
地域内在住	26	4.1	6	3.0	4	1.9	16	7.4
合計	632	100.0	202	100.0	214	100.0	216	100.0

旅行目的は何ですか。

単位：人・%

	総合計		夏		秋		冬	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
(1)キャンプ・アウトドアー	166	26.3	160	79.2	4	1.9	2	0.9
(2)自然景勝地の観光	130	20.6	9	4.5	77	36.0	44	20.4
(3)歴史・文化などの鑑	56	8.9	3	1.5	44	20.6	9	4.2
(4)休養・保養	87	13.8	11	5.5	31	14.5	45	20.8
(5)町並みや施設などの鑑	32	5.1	1	0.5	15	7.0	16	7.4
(6)行事・イベント	45	7.1	8	4.0	12	5.6	25	11.6
(7)料理・特産品	117	18.5	2	1.0	20	9.3	95	44.0
(8)仕事・学業	10	1.6	3	1.5	7	3.3	0	0.0
(9)温泉	69	10.9	2	1.0	29	13.6	38	17.6
(10)帰省	15	2.4	7	3.5	5	2.3	3	1.4
(11)その他	24	3.8	5	2.5	15	7.0	4	1.9
合計	751	120.4	211	104.5	259	121.0	281	130.1

資料：丹後半島「健康と保養の郷づくり」に関するビジョン調査報告書

(7) 観光的視点を中心とした地域資源の分布

1) 自然資源

この地域は、海、山等に代表される豊富な自然資源を有し、本地域を特徴づける魅力となっており、代表的な観光資源などとして活用されている。

○代表的な自然資源
<ul style="list-style-type: none"> 山陰海岸国立公園、若狭湾国定公園に代表される海の魅力（海水浴場、マリンスポーツ等での活用） 磯砂山（峰山町）等に代表される山々の魅力（ハイキングコース等での活用） 野間川（弥栄町）等の渓谷の魅力（鮎釣り等の活用） 離湖（網野町）（京都府下最大の淡水湖） 等
○希少な自然資源
<ul style="list-style-type: none"> 琴引浜（網野町）の鳴き砂 内山山系（大宮町）のブナ等の自生植物 等
○景勝地
<ul style="list-style-type: none"> 丹後松島（丹後町）、夕日ヶ浦海岸などの海岸沿いの景勝 七竜峠（網野町）等の山地部の景勝 内陸部の田園風景
○自然を活用した施設
<ul style="list-style-type: none"> 八丁浜シーサイドパーク（網野町）等の海岸のレクリエーション施設 森林公園スイス村（弥栄町）等の高原の観光施設（キャンプ場 等） 山村体験交流センターせせらぎ（網野町）等の体験施設

2) 歴史資源

この地域は、縄文時代早期にあたる宮の下遺跡から始まる、古代より大陸との玄関として栄えた歴史があり、数多くの文化財も有している。また、丹後七姫伝説のうち5つの伝説（羽衣天女（峰山町）や静御前（網野町）など）など、数多くの伝説を有し、古きをしのばせる歴史的資源の宝庫となっている。

これらの歴史的資源を活かし、古代の里資料館（丹後町）が整備されるなど、観光への展開も一部みられる。

地域の歴史的資源(文化財)の数

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
国指定文化財	3	2	2	2	1	4	14
府指定文化財	6	3	0	9	9	20	47
町指定文化財	15	20	11	11	7	16	80
埋蔵文化財	201	230	182	113	187	304	1,217

H13.4.1現在

3) 祭り・イベント

この地域には、「水無月まつり（網野町）」、「しかか踊り（弥栄町）」といった、古くから続く伝統的な祭りが各地に存在する一方で、「ドラゴンカヌー選手権大会（久美浜町）」、「フェスタみねやま『飛天』」、「おおみや楽市・楽座」など、新たなイベントも開催され、新しい地域の風物詩となっている。

また、地域産業と連携した「碓高原祭り（丹後町）」、「ちりめん祭り（網野町）」といったイベントや丹後4町を駆け抜ける「丹後ウルトラマラソン（網野町）」も開催されるなど、多様な交流の機会を創出している。

4) 地場産業資源

この地域の水産品を活かしたカニ料理は、既に知名度も高く、多くの観光客を招いている。これ以外にもカキ料理（久美浜町）、国営農地を中心に栽培されているモモ、ナシといったフルーツなど、多様な1次産品も生産されている。また、古くからの地場産業である丹後ちりめんは、土産物としても各種生産されている。

これらの地場産業資源を活かし、「丹後あじわいの郷（弥栄町）」に代表される体験型施設等も整備されている。

5) 温泉

地域内には、泉温、湧出量に優れた温泉が数多く存在する。これらは特に海岸部に多く位置しているが、内陸部でも整備が進んできており、地域に広く分布し、それぞれ多種多様に整備されてきている。



地域周辺の主な温泉資源

(8) 主な公共・公益施設

この地域の主な公共・公益施設の分布をみると、官公署が峰山町に集中している。また、文化的施設は、峰山町・網野町に図書館が整備されているが、この他、博物館・美術館といった文化的施設はみられない。

主要な公共・公益施設

	峰 山 町	大 宮 町	網 野 町	丹 後 町	弥 栄 町	久 美 浜 町
国の機関	京都地方検察庁峰山支部 峰山簡易裁判所 近畿農政局峰山統計情報出張所 京都食糧事務所峰山支所 峰山公共職業安定所 峰山税務署 京都地方支務局峰山支局 丹後労働基準監督署			航空自衛隊第35警戒隊	近畿農政局丹後国営農地開拓事務所	
府の機関	府峰山地方振興局 府峰山保健所 府丹後教育局 府峰山土木事務所 府峰山農業改良普及センター 府織物・機械金属振興センター	府土地改良事務所		府淀高原総合牧場	府丹後農業研究所	
警察署等						
警察署	1	0	1	0	0	1
派出所	0	1	0	1	0	0
駐在所	4	3	3	2	2	5
郵便局						
郵便局	3	2	4	3	2	7
簡易郵便局	0	1	0	1	0	0
消防署						
本署	1	0	0	0	0	0
消防署	1	0	0	0	0	0
分署	0	0	1	0	0	1
分遣所	0	0	0	1	0	0
駅(KTRタンゴ鉄道)	峰山駅	丹後大宮駅	網野駅			久美浜駅
			木津温泉駅			丹後神野駅 甲山駅
保育所	6	8	5	4	6	7
幼稚園	1	0	1	0	0	0
小学校	6	3	6	4	5	7
中学校	1	1	2	2	1	2
公立高等学校	1	0	1	1	1	1
給食センター	0	0	1	0	0	0
図書館	1	0	1	0	0	0
体育館	0	1	1	1	2	0
陸上競技場	1	0	0	0	0	0
野球場	1	1	0	0	0	0
プール	0	0	1	0	1	1
総合病院	1	0	1	0	1	1
町立	0	0	0	0	1	1
町立以外	1	0	1	0	0	0
老人福祉施設	4	2	3	5	5	5
町立	0	0	0	1	3	3
町立以外	4	2	3	4	2	2
漁港	-	-	5	6	-	2
第1種	-	-	4	4	-	2
第2種	-	-	1	1	-	0
府管理	-	-	0	1	-	0

(9) 既存計画にみるまちづくりの考え方

ここでは、まちづくり上の課題に対する認識、まちの将来像・基本目標について、既存計画を踏まえる中で、今後のまちづくりに向けた基本的考え方を整理する。

1) まちづくり上の課題に関する認識

① 情勢の変化に対する認識

近年の全国総合開発計画は、地球規模の視点(地球環境問題、国際交流)、人口減少、高齢化、高度情報化といった時代背景を踏まえたものとなっている。

一方、各町の総合計画における情勢の変化に対する認識は、上記の視点について共通して認識されているほか、概ね、価値観の多様化、環境問題(自然の保全・回復)、産業構造に関する課題(経済の安定化、産業構造の転換の必要性)といったキーワードが抽出される。

② 主要課題

各町の総合計画から、特に主要な課題に関する事項として、概ね、少子・高齢化への対応、定住の促進、環境問題への対応、産業構造の転換、住民参画のまちづくりといったキーワードが、共通認識としてあげられている。

全国総合開発計画や京都府総合計画においても、これらのキーワードが踏まえられているほか、地域の自立(自主性・主体性)あるまちづくりがうたわれている。

2) まちの将来像・基本目標

各町の総合計画では、将来像、基本的視点に関して、豊かな自然・歴史資源の重視と地域個性の創出、住民参加のまちづくり、交流の促進(人、地域)、若者の定着、生活環境の充実といったキーワードが共通認識として抽出される。

加えて、基本目標としては、少子高齢化への対応(いきがづくり)、産業の活性化といったキーワードが抽出される。

全国総合開発計画などの上位計画においても、概ねこうした考え方は踏襲されているが、より多様な交流連携、持続性のある発展、地域の個性をいかした新たな文化の創出といった視点が特に重要視されているものと考えられる。

各町の総合計画

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	傾向のまとめ
	第4次峰山町総合計画 (H14.3～H24.3)	第3次大宮町総合計画 (H12.3～H22.3)	第4次網野町振興計画 (H11.3～H21.3)	第4次丹後町総合計画 (H14.3～H24.3)	第2次弥栄町総合計画 (H4.3～H13.3)	第4次久美浜町総合計画 (H13.3～H23.3)	
情勢の変化に対する認識	<p>■まちづくりをとりまく社会背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境問題 ●情報化 ●少子高齢化 ●価値観の変化 ●国際化 	<p>■時代の潮流(本文よりキーワードを抽出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の自立と共生 ●多様な主体の参加と地域間の連携 ●自然の保全・回復 ●文化の創造 ●多様な暮らしを選択する可能性の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口の少子・高齢化の進行 ●高度情報化・国際化の進展 ●産業構造の転換 <p>(「はじめに」よりキーワードを抜粋)</p>	<p>■これからのまちづくり課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少子・高齢化、人口減少の進行 ●自然との共生、地球環境への意識の高まり ●IT(情報技術)による産業・社会構造の変化 ●交流と連携の時代 ●価値観の多様 ●地方分権の進展と広域行政の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●人々の価値観の多様化 ●物質的豊かさの追求から精神的豊かさの追求へ <p>(「計画策定の目的と性格」よりキーワードを抜粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人口の減少 ●経済の低成長 ●情報化、国際化の進展 <p>(「計画策定の意義」よりキーワードを抜粋)</p>	<p><キーワード>斜体は3町以上共通</p> <p>人口の課題(少子高齢化、人口減少)</p> <p>価値観の多様化(多様な暮らしの選択性、精神的豊かさ)</p> <p>環境問題(自然の保全・回復、自然との共生、地球環境問題)</p> <p>高度情報化</p> <p>国際化</p> <p>産業構造(経済の低成長、産業構造の転換)</p> <p>行政等(地域の自立と共生、地方分権、広域行政)</p> <p>住民参加</p> <p>交流(地域間連携、交流と連携の時代)</p> <p>文化の創造</p>
主要課題	<p>■まちづくりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化への対応 ●まちの活性化と若者定住 ●自然との共生 ●郷土への愛着と誇り ●住民と行政の協働 	<p>■まちの現況と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安定した人口と地域的人口格差 ●地域経済の低迷・複合経営による産業振興 ●少子・高齢化の進展、地域福祉・医療の充実と健康社会の現実 ●学習と創造の場、生涯学習の推進と文化の継承 ●環境問題に対する意識の変化と循環型社会の構築 ●快適生活空間の創造と安全で安心な社会の構造 ●地域コミュニティ環境の形成 ●共に造る地域づくりの推進 ●高度情報化の進展と国際文化への対応 ●地方分権・行政改革の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●定住化促進のための基盤整備 ●産業の構造改善 <p>(「総論」よりキーワードを抜粋)</p>	<p>■これからのまちづくり課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然、歴史文化資源を活かしたまちづくり ●産業のむすびつきによる交流の創出 ●少子高齢化、人づくりへの取り組み ●農山漁村集落の機能維持 ●住民が主役、主体のまちづくり ●広域行政、町村合併の具体的な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然と快適な都市的機能の共存 ●魅力ある働き場 ●思いやり豊かな福祉、保健環境 ●創造的な教育文化環境 <p>(新しいまちづくりの基本目標に向けた4要素)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域経済の低迷 ●若者の流出と過疎化の進行 ●少子・高齢化の進行 <p>(「計画策定の意義」よりキーワードを抜粋)</p>	<p><キーワード>斜体は3町以上共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ■少子・高齢化への対応 ■定住促進(人づくり) ■環境(自然との共生、環境問題対策) ■産業構造(働く場づくり、構造改革、一次産業基盤維持) ■住民参加(行政との協働、住民主体) ■文化(歴史資源の活用、教育環境の充実) ■交流(人、地域間、国際間、産業間) ■郷土への愛着 ■生活環境整備(福祉・医療、安全・安心なまち) ■行政(地方の自立、広域行政促進) ■高度情報化

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	傾向のまとめ
将来像	<p>■将来像</p> <p>住む人の心と心がやさしく響きあう町 ハーモニータウン みねやま</p>	<p>■将来像</p> <p>●美しく大好きなふるさと・大宮 ーやさしく、たくましい挑戦ー</p>	<p>■まちづくりのタイトル</p> <p>●海がきれい、まちが楽しい、人がかがやくふるさと網野 ～未来の仲間へ贈るまちづくり～</p>	<p>■町の将来像</p> <p>●ふれあい（交流） ●めぐりあい（循環） ●むすびあう（きずな）まちづくり</p>	<p>■町の将来像（総合計画タイトルより）</p> <p>活き活きと豊かに暮らせる弥栄町</p>	<p>■町の将来像</p> <p>「うみ、さと、やま」交流でおりにす、うるおいとやすらぎのまち</p>	<p><主要な視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 豊富な自然資源の活用 ■ 様々な歴史資源の活用 ■ 住民の参加と行政と協働 ■ 交流の促進（人、地域） ■ 若者の定着（ひとづくり、働く場の創出） ■ 生活基盤の充実
基本的視点	<p>■まちづくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「人」と「自然」との調和 ●「人」と「人」との調和 ●「古さ」と「新しさ」との調和 ●「都市的機能」と「村落的機能」との調和 ●「住民」と「行政」との調和 	<p>■地域づくりの理念と視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大宮町にくらす人の視点にたった地域づくり ●集落自治を基礎とした、住民が参画し築く地域づくり ●自然と文化を活かした個性ある地域づくり ●広域的視野にたった地域づくり 	<p>■まちづくりのテーマ</p> <p>●仕事があつて、毎日が充実し、安心できる暮らしがあるまちをめざす</p>	<p>■まちづくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人としての重視 ●多様な交流の創出 ●新たな価値の創造 	<p>■弥栄町の将来目標像</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人づくりを推進し、住んで誇りのもてる町づくりを推進 ●だれもが快適な生活をおくれる生活基盤が整備された町づくりの推進 ●緑豊かでうるおいを感じる田園都市的整備の推進 ●新しい観光産業の推進と地域イメージアップ施策の展開 ●若者が定着できる地場産業活性化施策の展開 ●だれもが安心して暮らせる健康・福祉施策の充実 ●ふるさと文化の創造と国際交流推進の町づくり 	<p>■まちづくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然美 ●絆の心 ●町の個性 ●町の誇り ●人材育成 ●情報化 	
基本目標	<p>■施策の柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住んでよかったと言えるまちをつくる（少子高齢化への対応） ●住んでみたいと思えるまちをつくる（まちの活性化と若者定住） ●未来へ引き継ぐまちをつくる（自然との共生） ●まちを支える人をつくる（郷土への愛着と誇り） ●まちはみんなで作る（住民と行政の協働） 	<p>■地域づくりへの挑戦課題（基本目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域と産業が輝く地域づくりの挑戦 ●生きがいとやすらぎのある地域づくりへの挑戦 ●人と文化の花開くふるさとづくりへの挑戦 ●水とみどり調和するうるおいのある地域づくりへの挑戦 ●いきいきと人がふれあう地域づくりへの挑戦 	<p>■まちづくりのドラマのストーリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きれいな海とまちの誇りづくり ～人と環境にやさしいまちづくり～ ●楽しいまちのもてなしづくり ～交流で育むにぎわいと活気～ ●かがやく人の輪づくり ～みんなで築く生きがいと安心～ ●共有できるまちづくり ～「だれかがやる」から「自分たちがやる」～ 	<p>■まちづくりの基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美しい自然がつながり住みよいまちづくり ●めぐりあう産業がつながり住み続けたいまちづくり ●ふれあいとやさしさがむすぶやすらぎのあるまちづくり ●豊かな心がむすぶ生きがいのあるまちづくり ●住民と行政の協働のまちづくり 	<p>■基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●快適で住みよい環境の機能的な町づくり ●活力にみちた魅力ある地域産業発展の町づくり ●健やかでうるおいある福祉のまちづくり 	<p>■まちづくりのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人・もの・情報が交流するまちづくり ●生きるよろこびが実感できるまちづくり ●ふれあいの中で学び育むまちづくり ●町民と共にすすめるまちづくり 	<p><主要な視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 少子高齢化への対応（いきがいづくり） ■ 若者の定住 ■ 自然との共生 ■ 個性ある郷土づくり ■ 住民参加のまちづくり ■ 産業の活性化 ■ 交流の促進 ■ 生活環境充実のまちづくり

全国総合開発計画

	第四次全国総合開発計画（四全総）	21世紀の国土のグランドデザイン
背景	1 人口、諸機能の東京一極集中 2 産業構造の急速な変化等により、地方圏での雇用問題の深刻化 3 本格的国際化の進展	1 地球時代 （地球環境問題、大競争、アジア諸国との交流） 2 人口減少・高齢化時代 3 高度情報化時代
基本目標	<多極分散型国土の構築> 安全でうるおいのある国土の上に、特色ある機能を有する多くの極が成立し、特定の地域への人口や経済機能、行政機能等諸機能の過度の集中がなく地域間、国際間で相互に補完、触発しあいながら交流している国土を形成する。	<多軸型国土構造形成の基礎づくり> 多軸型国土構造の形成を目指す「21世紀の国土のグランドデザイン」実現の基礎を築く。 地域の選択と責任に基づく地域づくりの重視。
基本的課題	1 定住と交流による地域の活性化 2 国際化と世界都市機能の再編成 3 安全で質の高い国土環境の整備	1 自立の促進と誇りの持てる地域の創造 2 国土の安全と暮らしの安心の確保 3 恵み豊かな自然の享受と継承 4 活力ある経済社会の構成 5 世界に開かれた国土の形成
開発方式等	<交流ネットワーク構想> 多極分散型国土を構築するため、地域の特性を生かしつつ、創意と工夫により地域整備を推進、基幹的交通、情報・通信体系の整備を国自らあるいは国の先導的な指針に基づき全国にわたって推進、多様な交流の機会を国、地方、民間諸団体の連携により形成。	<参加と連携> - 多様な主体の参加と地域連携による国土づくり - （4つの戦略） 1 多自然居住地域（小都市、農山漁村、中山間地域等）の創造 2 大都市のリノベーション（大都市空間の修復、更新、有効活用） 3 地域連携軸（軸状に連なる地域連携のまとめり）の展開 4 広域国際交流圏（世界的な交流機能を有する圏域）の形成

京都府総合開発計画

名称	第4次京都府総合開発計画	新京都府総合計画
副題	京都府民21世紀への設計図	
キャッチフレーズ	真の豊かさや均衡ある発展をめざして	むすびあい、ともにひらく新世紀・京都
策定期期	平成2年1月	平成13年1月
中心となる考え方	<ul style="list-style-type: none"> 一極集中構造を是正し、府域全体の均衡ある発展を目指す 公平・公正で豊かさの実感できる京都府社会を構築すること 	<ul style="list-style-type: none"> 府民の自助・自立や府民・地域の自主性・主体性をいかした地域づくりを尊重し、府民の府政への参加・協働のもとに魅力ある京都府社会を築いていくこと 4府総までの成果をさらにいかしていくこと
計画の課題 施策展開等	<ul style="list-style-type: none"> <基本的課題> 府域の多極構造の実現 次の時代を先取りする産業構造の確立 豊かさを実感できる社会 生活環境の実現 健やかで充実した長寿社会の創造 新しい京都文化の創造と発信 京都を支える人づくり 個人の尊厳と人権が尊重される社会の実現 <課題別施策展開> 未来を開く生活と産業の基盤づくり 活力ある地域経済の確立 健やかでゆとりある生活の実現 世界に通じる京都文化の創造と心豊か「ひと」づくり 	<ul style="list-style-type: none"> <京都府のめざす将来像> 1 一人ひとりがいきいきと暮らせる社会 2 人と自然が共生する循環型社会 3 文化・学術を創造し、世界に発信する社会 4 たくましい地域経済のもとで持続可能な発展をめざす社会 5 豊かな社会基盤が支える快適でうるおいある社会 <基本計画（施策の体系）> 1 いきいきと生きがいを持って暮らせる社会づくり 2 明るく健やかな健康福祉社会の確立 3 人と自然が共生し、文化がいきづく京都府づくり 4 たくましい地域経済と安定して働ける社会の確立 5 生活と産業を支える基盤の整備
圏域（丹後地域（1市10町））の将来像		自然と歴史をいかしたやすらぎ、ふれあい交流圏の形成

広域圏計画

第2次丹後地区ふるさと市町村圏計画（平成12年3月）	
対象地域	丹後地域（宮津市、加悦町、岩滝町、伊根町、野田川町、峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町）
主要課題	<p>圏域の現状と課題</p> <p>地域環境の変化（新たなプロジェクトの進捗度の勢い低下、織物業の構造不況への対応、産業構造変革）</p> <p>生活環境の変化（生活・文化の重視、圏域内外の交流の促進、魅力ある都市機能の集積）</p> <p>経済環境の変化（産業動向、社会的課題への対応、人材育成、情報発信力の強化 等）</p> <p>地域文化の確立</p> <p>広域行政への対応</p>
将来像	<p>圏域の将来像</p> <p>「海と山野が織りなす活力ある交流ゾーン“丹後”」</p>
基本目標	<p>圏域の発展方向</p> <p>「人・モノ・情報の交流ゾーン」の実現</p> <p>「自然環境立地型の産業交流ゾーン」の実現</p> <p>「四季型・ネットワーク型集客交流ゾーン」の実現</p> <p>「多自然居住型交流ゾーン」の実現</p>

3.6 町合併の必要性

市町村は、住民に最も身近で基礎的な自治体として、これまでも教育、社会福祉、消防等、住民に密着したサービスの提供や地域の特色を活かしたまちづくりなどについて、重要な役割を果たしてきたところであるが、市町村の区域・規模は、普遍ではなく、実際、現在の市町村のほとんどが、「明治の大合併」、「昭和の大合併」を経て、各時代の社会環境・ニーズの変化・要請に応じて規模を拡大してきている。

今日の市町村を取り巻く情勢は厳しく、右肩上がりの人口や経済成長が基調であった時代の終焉、国・地方を通じての厳しい財政状況の中であって、地方分権の推進、少子・高齢化の急速な進行、その他住民ニーズの多様化・高度化に適切に対応しながら、住民サービスの維持・向上を図り、まちの活力を維持・強化していける都市づくりが求められている。

特に、人口規模の小さい市町村においては、総じて人口減少率や高齢化率が高く、産業等の財政基盤が弱い傾向にあり、このまま推移すれば必要な住民サービスの維持、向上が困難となることも予想されている。

また、介護保険制度の施行やごみ処理の問題など広域的対応が従来にも増して求められて来ている状況にある。

このように市町村を取り巻く環境が大きく変わりつつある中、地域の一体的な整備、社会福祉等の身近な行政サービスの充実等、将来にわたる地域全体の持続的な発展を確保するために、地域の人的・自然資源・公共施設等を有効活用し、地域の自然特性を最大限活かしながら、自主・自立と自己責任によるまちづくりを簡素で効率的な行政体制で行っていくことが求められており、その手法として市町村合併は地方分権推進委員会の意見（平成12年11月28日）にもあるように、喫緊に検討すべき課題である。

以上が、全国的な市町村を取り巻く状況であるが、この状況は丹後6町においても同様であり、これを整理すると次のようになる。

(1) 暮らしやすい地域づくりにおける市町村の役割強化

1) 生活圏の拡大への対応

交通機関・ネットワークの発達やモータリゼーションの進展に伴い、住民の日常生活圏はますます増大しており、丹後6町においても、2-11~2-16にあるように通勤・通学、買物や通院など、この地域において日常生活におけるつながりは、歴史的にも深い。町の区域界にとらわれない公共施設の柔軟な利用のように、広域的な視点に立ったまちづくりの推進・一体的なまちづくりが課題となっている。

2) 少子・高齢化への対応

本格的な少子・高齢化が急速に進み、今後、人口、とりわけ生産年齢人口が減少すると見込まれることにより、社会構造は大きな転換期を迎えようとしている。

丹後6町においても、人口は減少傾向を示し、少子化傾向とともに高齢化率も高くなっている中で、雇用の場や産業の活性化とともに「子育て支援体制等の充実」・「福祉施設、体制の充実」・「保健・医療施設、体制の強化」等の暮らしやすい地域づくりの視点からの施策強化が強く求められている。(住民意識調査結果による(3-5)参照)

このために必要となる行政経費を負担する納税者(生産人口)の減少と行政サービス需要の増加というアンバランスが予想される中、共通する地域課題に効果的効率的に対応していくことが喫緊の現実的課題となっている。

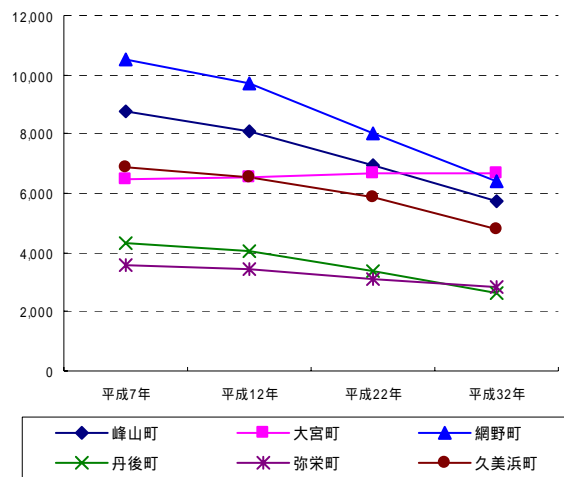
<将来の高齢化の予測>

町 名			実績値(人)		推計値(人)	
			平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成22年 (2010)	平成32年 (2020)
峰山町	0～14才	人口	2,456	2,251	1,889	1,450
		構成比	17.5	16.6	15.3	13.5
	15～64才	人口	8,775	8,109	6,955	5,697
		構成比	62.3	59.8	56.1	52.9
	65才～	人口	2,795	3,204	3,543	3,618
		構成比	19.9	23.6	28.6	33.6
大宮町	0～14才	人口	1,871	1,909	2,006	2,115
		構成比	18.0	17.7	17.6	17.9
	15～64才	人口	6,440	6,536	6,690	6,659
		構成比	61.8	60.5	58.6	56.3
	65才～	人口	2,105	2,360	2,729	3,048
		構成比	20.2	21.8	23.9	25.8
網野町	0～14才	人口	2,906	2,590	2,221	1,776
		構成比	17.4	16.1	15.4	14.2
	15～64才	人口	10,499	9,730	8,042	6,405
		構成比	62.9	60.6	55.6	51.1
	65才～	人口	3,291	3,736	4,204	4,348
		構成比	19.7	23.3	29.1	34.7
丹後町	0～14才	人口	1,316	1,089	828	770
		構成比	17.3	15.2	13.2	14.1
	15～64才	人口	4,337	4,020	3,351	2,621
		構成比	57.0	56.1	53.4	48.1
	65才～	人口	1,954	2,055	2,099	2,057
		構成比	25.9	28.7	33.4	37.8
弥栄町	0～14才	人口	1,112	1,037	891	819
		構成比	18.2	16.9	15.0	14.4
	15～64才	人口	3,576	3,428	3,132	2,816
		構成比	58.4	55.9	52.6	49.6
	65才～	人口	1,437	1,667	1,930	2,047
		構成比	23.5	27.2	32.4	36.0
久美浜町	0～14才	人口	2,114	1,770	1,489	1,499
		構成比	17.1	14.9	13.6	15.0
	15～64才	人口	6,910	6,509	5,851	4,763
		構成比	56.0	54.9	53.5	47.7
	65才～	人口	3,314	3,578	3,592	3,717
		構成比	26.9	30.2	32.9	37.2
合 計	0～14才	人口	11,775	10,646	9,334	8,431
		構成比	17.5	16.2	15.2	15.0
	15～64才	人口	40,537	38,332	34,020	28,961
		構成比	60.3	58.5	55.4	51.5
	65才～	人口	14,896	16,600	18,098	18,834
		構成比	22.2	25.3	29.4	33.5

<生産年齢人口(15歳～64歳)の予測>

(単位:人)

町 名	平成7年	平成12年	平成22年	平成32年
峰山町	8,775	8,109	6,955	5,697
大宮町	6,440	6,536	6,690	6,659
網野町	10,499	9,730	8,042	6,405
丹後町	4,337	4,020	3,351	2,621
弥栄町	3,576	3,428	3,132	2,816
久美浜町	6,910	6,509	5,851	4,763
合 計	40,537	38,332	34,021	28,961



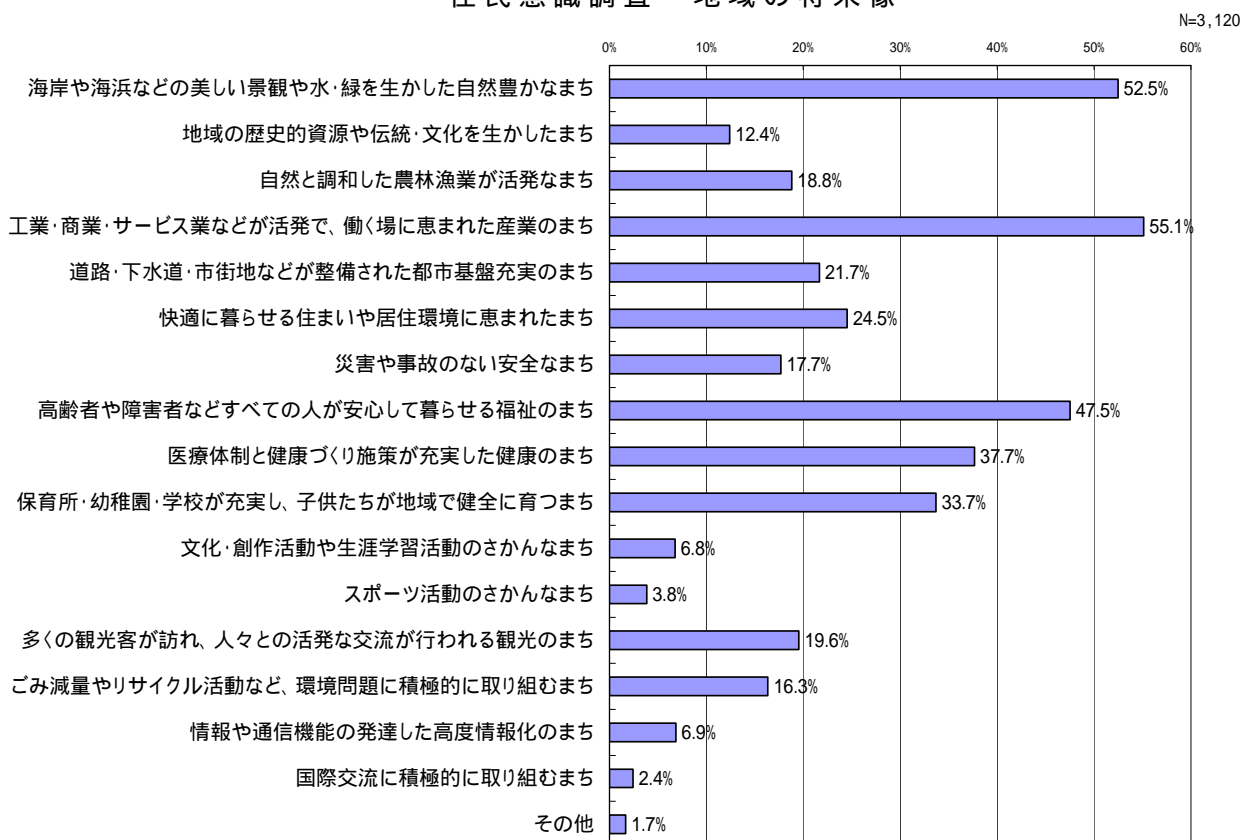
3) 多様化する住民ニーズへの対応

住民の価値観・ニーズは多様化しており、また、環境問題・介護、その他の様々な行政課題等に対して、市町村行政が適切に对应していけるような体制づくり・施策の強化を進めていく必要性が高まっている。

丹後6町においては、住民意識調査結果にも表れているように、自然環境を活かしたまちづくり、産業振興や新たな雇用創出への一層の取り組み強化が大きな課題であり、また、将来の地域間競争を考えると、高度情報社会、環境対策、教育等の様々な面に留意しながら、いかに魅力ある個性的な取り組みを行っていくかが重要である。

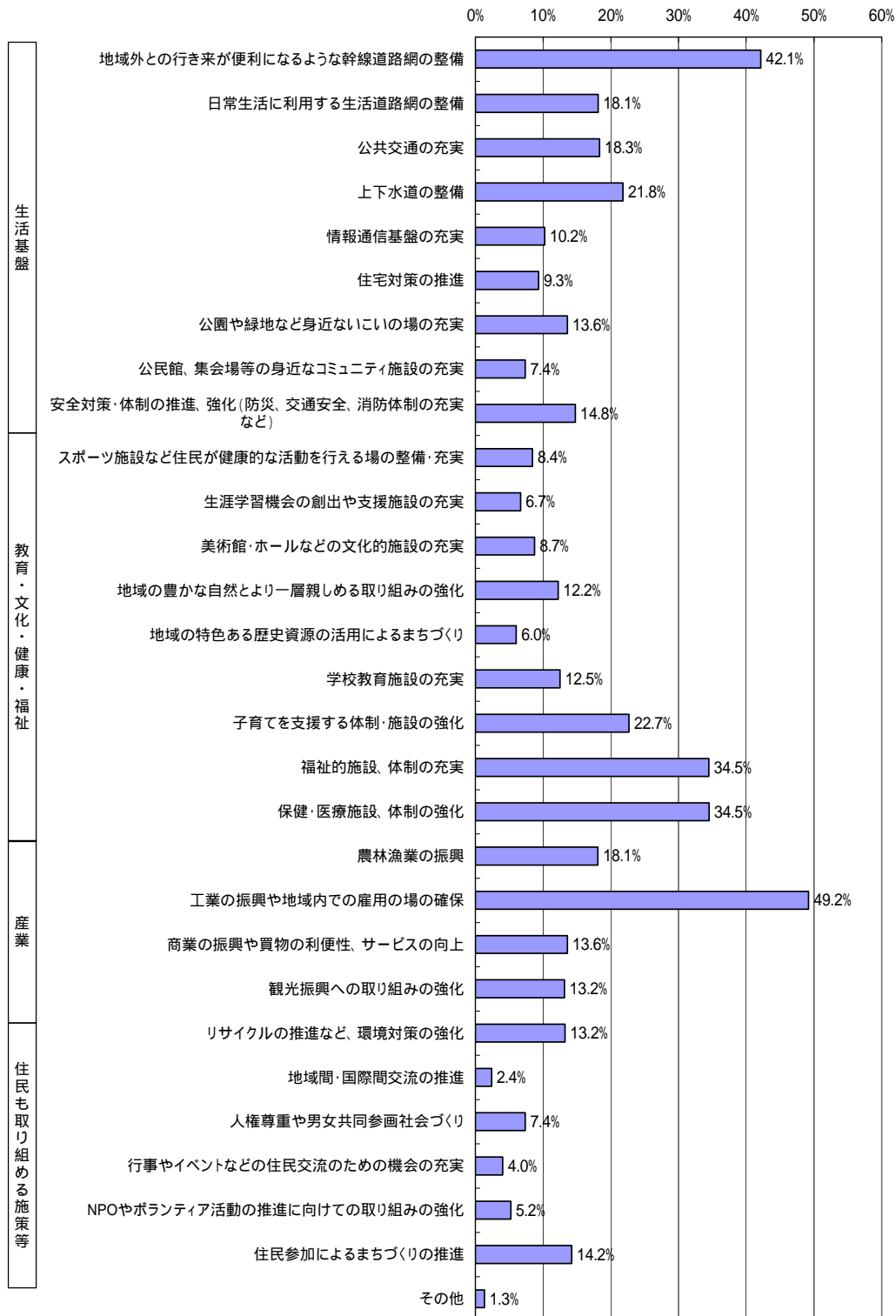
このような課題にそれぞれの町が単独で対応するには限界があり、人的・財政的な対応を可能とし、積極的な役割を果たすための新しい仕組みが必要となっている。

住民意識調査 地域の将来像



住民意識調査 将来望まれる施策

N=2,553



(2) 地域の活力の向上と市町村の役割

人口減少が見込まれる状況の中、地域の活力を維持・強化していくためには、「未来を担う人づくり」とともに、「まちのにぎわい」が重要である。

そのためには、「(地域内外の)交流人口」が大きな鍵をにぎっており、交流の増大・活発化が強く望まれる。

こうした「交流」を活性化するためには、丹後6町が地域資源を共有し、積極的に活用することや、多彩な人材・アイデアを共有することにより、広域的に一体となって戦略的にテーマに取り組んで行くことが大変大きなメリットを生み出すと考えられる。

こうした取り組みを行うに当たっては、合併に伴う新市の誕生が、まちのイメージアップ効果にもつながり、加えて、広域的・一体的な取り組みの進展により、地域活力の向上につながることを期待される。

(3) 地方分権で高まる市町村の役割強化

個性豊かで活力に満ちた地域社会を目指す分権社会において、地方分権の推進主体である市町村の役割は、一層重要となってきた。

すなわち、地方分権の推進は、住民に身近な行政に対して国や府県から、権限の委譲が大幅に進むため、町に「自己企画・決定・責任」能力が強く求められることになり、分権型社会においては、町の人的・財政的能力の違いが、地域住民への行政サービスの差や地域振興、活性化などに直接的に影響することが予想される。

このため、住民ニーズ、地域特性、時代の変化に応じたまちづくりを適切に進めていく「主体性」や、町財政基盤の改善や社会経済環境等の変化に強い「自立(律)性」が重要であり、新たな行政サービスへの対応も含めて、従来のように国や府に依存して事務を処理するのではなく、自ら政策を企画立案し、地域に説明し、実施することが求められている。

こうした地方分権の推進に適切に対応し、自主性・自己責任・自立(律)性ある強固な行政推進体制を確立していくためには、権限移譲に対応したより有能な職員の確保、専門的人材の育成などを進めていくとともに、簡素で効率的な行政運営を図っていくことが必要で、現在の町の体制のままでは対応が厳しい状況にある。

(4) 行財政の効率化に対する市町村の積極的な取り組み

1) 厳しい財政状況への対応

国、地方を合わせた長期債務残高は、平成 13 年度末で 675 兆円(国民 1 人当たり約 530 万円)に達する見込みであるなど極めて厳しい状況にある。

このような状況の中、地方交付税制度の見直しが論議されるなど、地方自治体はさらに厳しい財政運営を強いられることは必至である。また、地方分権の進展による市町村の住民サービス向上への取り組みなどにおいて、自立と自己責任による行政運営が求められる中で、将来的には小規模市町村ほど厳しい財政運営を迫られることが予想される。

丹後 6 町においては、その財源が国や府からの交付金や補助金に依存する割合が高く、自主財源は 18～32%となっている。(平成 12 年度)

また、地方債残高(平成 13 年度からは、地方交付税の原資の不足分も地方自治体が自ら借り入れることとなっており、さらに増加が予想される。)は各町ともに増加し、一方、貯金である積立金残高は近年減少の傾向を示している。また、公債費、扶助費、補助費等の経常的経費が、近年高まる状況にあり、新しい行政ニーズに対する財政的余力が減少している。

このように 6 町の財政は、どの切り口から見ても極めて厳しい状況にある。現状の住民サービスを維持することでさえ困難な状況下で、更に、将来の環境問題や住民ニーズの変化に対応して、新たに適切な住民サービスを向上させていくことは至難と言わざるを得ない。合併を活かして、限られた財源の中で、より効率的な財政運営を確立するためには、人件費など管理経費の削減等による経費の効率化を図るなど、行財政基盤の強化が必要である。

2) 納税者としての住民の意識への対応

厳しい地方財政状況の下、地方税の充実確保を図っていくうえで、納税者、生活者である住民の幅広い理解を得なければならない。そのためには、民間企業等において雇用調整等の経営合理化策等が講じられている社会経済情勢の下で、現行の地方行財政運営の仕組みや公務員に対して住民の中には厳しい意見もあることなどに鑑み、徹底した行財政改革を実施するためにも、市町村合併を強力に推進する必要がある。

新市のまちづくりの基本理念

豊かな自然や歴史・文化の恵みを住民のくらしに積極的に活かしていきます

- ・ 丹後6町の海・山・川の豊かな自然環境や歴史・文化、自然の中で育まれた農林水産資源は、地域の大きな特色・魅力であり、郷土の象徴となっています。
- ・ こうした「恵み」を、地域の誇り・宝として、次世代に引き継ぐとともに、全国(世界)に発信していきます。
- ・ また、自然のもつ「心身のリフレッシュ効果、素材の魅力等」は大きな力と可能性を有していることから、住民生活の豊かさに、まちの魅力・個性づくりに、積極的に活かしていくようなまちづくりをめざします。
- ・ そうした地域の自然や恵みに日常的にふれ親しむ機会を増やすことで、地域(資源やひと)への愛着や誇りをより一層高めていきます。
 - ◇ 例えば、多彩な自然のフィールドや自然の恵み(資源・産品・食材)を活かした福祉・健康・青少年教育・生涯学習の場づくり
 - ◇ 自然を活かした質の高い身近な環境づくりや住宅地整備
 - ◇ 自然との共生やリサイクルなどの新たな取り組みの強化、等

安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします

- ・ 少子高齢社会等を反映して、福祉や健康(医療)に関する住民要望が高くなっています。
- ・ このため子どもが健全に育ち、女性が安心して働くことのできるまちづくりをめざします。
- ・ また、長寿社会や健全な社会を支える基本は、健康にあり、医療・保健・福祉サービス・体制の充実・強化をめざします。
- ・ さらに、効果的な医療・保健・福祉サービスの提供のためには、住民自らの主体的な取組が不可欠であり、「日常的な健康管理の推進」や、「ボランティア活動など住民みなぎが相互に助け支え合う環境づくり」が重要であります。こうした取組が促進されるまちづくりをめざします。
- ・ また、地域の魅力である自然を活かし、健康増進・スポーツ活動等を支援する環境づくりなど、特色ある取組の推進をめざします。
 - ◇ 例えば、若者のニーズが高い自然の中での健康・スポーツ活動の振興
 - ◇ 温泉や自然素材(食材)を活かした健康づくり
 - ◇ 心身のリフレッシュが図れるような癒しの場づくり(大都市からの吸引も含めて)等

ひとを育て、未来に飛躍するにぎわいのあるまちづくりを進めます

- ・ 住民意向にも強く表れているように「雇用の確保」と「にぎわいの創出（商業・娯楽施設的な機能の強化）」が大きな課題となっています。
- ・ このため、既存の産業の振興はもとより、新たな企業の誘致や商業サービス機能の強化、多様な産業、高等教育機関との連携による競争力の強化をめざします。また、地域の特性である自然の「恵み」の積極的活用や、観光振興等による交流人口の増大に対応した各種産業の活性化を進めていきます。
 - ◇ 例えば、自然の「恵み」(資源・産品・食材)を活かした新たなブランド品づくり等による農林水産業の振興
 - ◇ 観光レクリエーション・交流活動の活発化による観光・サービス関連産業の振興、等
- ・ 加えて、創造性や活力を育てるのは、教育も含めた「交流」による切磋琢磨であり刺激であることから、交通・情報基盤など多様な交流基盤・環境づくりと併せて、「人と人、人と地域、地方と大都市（海外）との交流促進」を図ります。
- ・ また、近年の厳しい社会経済環境の中、すなわち、右肩上がりの経済成長や人口成長が確実になくなった現在、産業活性化や地域のにぎわい・活力づくりを進めていくためには、こうした環境の変化に柔軟かつ適切に対応していけるような「自立した主体的な住民の取組」が重要であると考えます。
- ・ このため、「住民」自らが、産業・文化・生涯学習等の様々な面で、創造的な活動を活発に行うことができる「環境づくり」を進め、地域文化の発信力を高めていくようなまちづくりをめざします。
- ・ また、創造性・自主性・個性等を尊重し、教育・育児環境の充実や、企業育成の支援など、未来の地域を担う豊かな人材が育っていくようなまちづくりをめざします。
- ・ さらには、こうした住民の自立(律)した取組を支える行政には、透明性を確保し、かつ、効率性をより高める仕組みを導入することにより、住民・企業・行政がお互いに連携を強め、まちの活力を育て、支え合うことが可能となります。こうした取組が行なえる住民参加型のまちづくりを進めていきます。



heart

新市のまちづくりの基本理念

豊かな自然や歴史・文化の恵みを住民の暮らしに積極的に活かしていきます
安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします
ひとを育て、未来に飛躍するにぎわいのあるまちづくりを進めます



nature

思いやりと健全な心身を育むまち

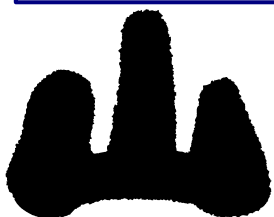
医療体制の充実
保健・福祉サービスの充実
スポーツ・健康増進活動の推進

地域の産業を活性化し、働く場を創出するまち

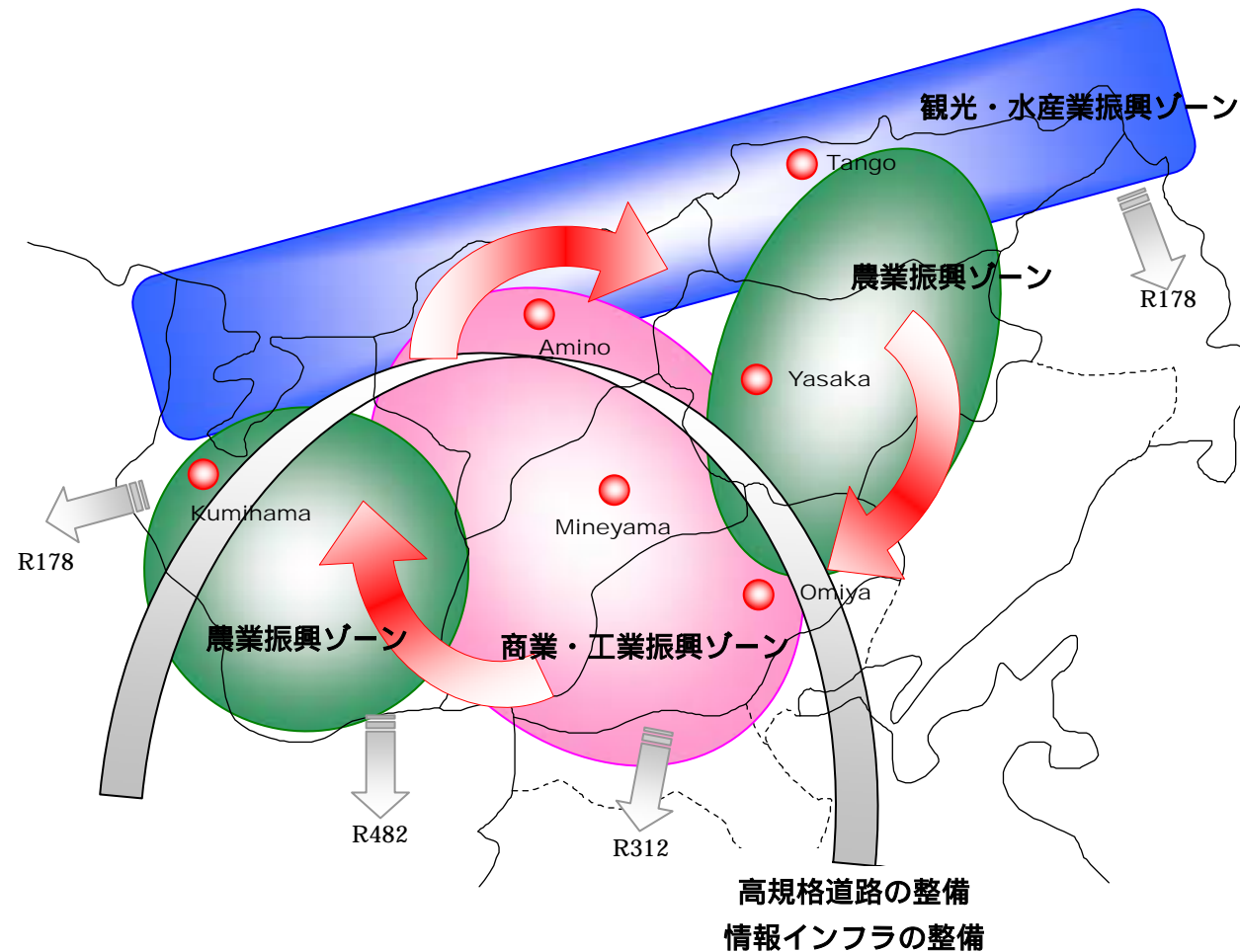
産・学・官の連携の推進
産業基盤の整備
地場産業の振興と観光との連携
U・J・Iターン等の定住化対策の促進
高度職業人の養成

ひと・地域の連携を推進する交流のあるまち

広域交流を支える交通アクセスの強化
独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
公共交通サービスの強化



nature



自然や歴史などの地域資源を守り生かすまち

かけがえのない自然環境の保全
自然を活かした生活環境の魅力化
循環型社会の構築

快適な暮らしをささえる生活基盤の整ったまち

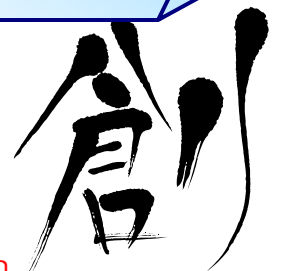
質の高い住環境の整備
地域情報化に向けた基盤・体制づくり
身近な道路交通ネットワークの整備促進

創造性を育む教育・文化のまち

個性を伸ばし、考える力を育てる学校教育
環境の充実
地域資源を活かした生涯学習の充実
芸術・文化活動の振興

自律的な市民参加によるまち

地域自治の確立
情報公開の推進
自立・自助の醸成
男女共同参画の推進



creation